Camera Control Pro ソフトウェア
使用説明書（リファレンスマニュアル）

■ はじめに

この使用説明書の構成、Camera Control Pro の概要（主な機能および動作環境）、使用前の準備などについて記載しています。

■ 操作ガイド

Camera Control Pro の各機能の操作手順について記載しています。

■ 付録

環境設定の詳細、アンインストールの手順などについて記載しています。

重要：Product Key（プロダクトキー）について

ケースに添付されているプロダクトキーは大切に保管してください。プロダクトキーを紛失された場合、再発行できません。このプロダクトキーは、本ソフトウェアをインストールする際に必要になります。また、将来新しいバージョンにアップグレードする際にも必要になります。

SB6E01(B1)
6MS522B1--

はじめに

見出しやページ番号をクリックすると、その項目の説明ページに移動します。

はじめにお読みください

このたびは Camera Control Pro をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みいただき、正しく使用してください。お読みいただいた後は、ご使用になる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表記について

- この使用説明書は、カメラやパソコンの OS に関する基礎的な知識をお持ちの方にお読みいただくことを想定しています。基本的な用語や操作などについてはカメラやパソコンの使用説明書などでご確認ください。
- Windows XP Home Edition と Windows XP Professional を「Windows XP」と総称しています。Windows 2000 Professional を「Windows 2000」と表記しています。
- OS によってメニュー名が異なる場合は、「Windows のメニュー名（Macintosh のメニュー名）」と表記しています。
- メニューやフォルダの操作順を、矢印（➞）で示しています。
- コンパクトフラッシュ（CF）カードや SD メモリーカードなどを「メモリーカード」と表記しています。

この使用説明書で使用する画面について

この使用説明書は、Windows と Macintosh を同時に説明しています。説明中では、Windows XP Professional の画面を主に使用していますが、操作方法は Windows/Macintosh でほぼ共通です。画面に表示されている画像ははめ込み合成によるものが含まれています。

ただし、OS の種類やバージョンの違いによって、画面の外観や操作が本使用説明書に掲載されているものと一部異なる場合があります。OS 特有の操作や表示画面については、ご使用の OS の使用説明書をご覧ください。

この使用説明書を印刷するには

この使用説明書を印刷する場合は、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader の［ファイル］メニューから［印刷］を選択してください。この使用説明書は A5 サイズです。A4 サイズの用紙に印刷する場合は、2 ページを見開きで印刷してください。パソコンの画面で見開き表示にしたときと同じ状態で印刷するには、2 ページ目から印刷を開始してください。

Camera Control Pro のインストール / アンインストール時のご注意

Camera Control Pro をインストール / アンインストールする際は、「コンピュータの管理者」（Windows XP）、「Administrators」（Windows 2000）、「管理者」（Mac OS X）アカウントでログオンしてください。

はじめにお読みください

重要

Camera Control Pro の各種設定は、カメラの機種により設定内容が異なります。詳しい内容はご使用のカメラの使用説明書を参照してください。

重要

Camera Control Pro は、パソコンからカメラをコントロールするソフトウェアです。撮影後の画像を編集することはできません。

使用する画面について

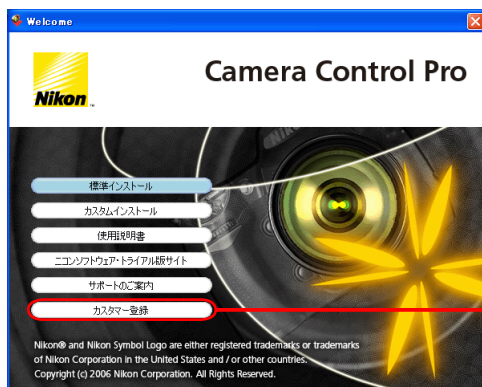
ここでは、主に D2Xs 使用時の画面を使用し、設定内容が大きく異なる画面のみ、他のカメラのものを併記しています。

Mac OS で Camera Control Pro をご使用の場合

Mac OS で D100 をお使いの場合、ファームウェアバージョンが 2.00 以降であることをご確認ください。ファームウェアバージョンが 2.00 より前の場合には、お近くのニコンサービスセンターにてバージョンアップしてから Camera Control Pro をご使用ください。

はじめにお読みください

カスタマー登録 / サポート窓口のご案内

カスタマー登録とサポート窓口については、こちらをご覧ください。

カスタマー登録

ご注意

- あなたがデジタルカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合があるのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。
- この使用説明書の一部あるいは全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- この使用説明書に記載されている内容は予告なしに変更されることがあります。
- この使用説明書の内容につきましては、万全を期して制作いたしましたが、万一お気付きの点がございましたら、ニコンカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。また、使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 仕様、性能は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本書を使用して操作した結果については、当社はいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。
- 本製品の不具合に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

商標説明

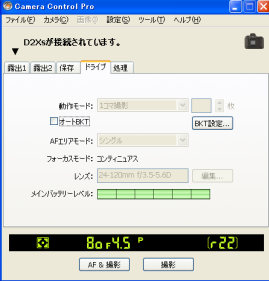
Microsoft® および Windows® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Adobe Reader、Adobe Acrobat Reader は Adobe Systems,Inc.（アドビシステムズ社）の商標または特定地域における同社の登録商標です。

Pentium は米国 Intel Corporation の商標です。

Macintosh®、Mac OS、QuickTime は米国 Apple Computer 社の商標です。

その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

この使用説明書について

使用説明書の見方

使用説明書の各ページは以下のようになっています。

①　はじめに　操作ガイド　付録

②　[Camera Control Pro] パネルの設定　9/14

③

[ドライブ] パネル

[ドライブ] パネルでは、カメラの操作に関する項目を表示および設定できます。

[動作モード]	D1 シリーズでは、カメラとパソコンを接続したときの撮影モードを [1 コマ撮影] または [連続撮影] に設定できます。また、ここでの変更はカメラのカスタムセッティング #30 [PC モード時の動作設定] の設定に反映されます。 D100 の場合は、カメラ側で設定されているモードが表示されますが、パソコン上で変更することはできません。 D2 シリーズ、D200 の場合は、[カメラ本体のコントロールを有効にする] ④ がチェックされているときは、カメラで設定した動作モードが表示され、パソコン上で変更することはできません。チェックされていないときは、カメラで設定した動作モードにかかわらず、[1 コマ撮影]、[低速連続撮影]、[高速連続撮影] から選択することができます。 D70S、D70、D50 の場合は、[1 コマ撮影]、[連続撮影] から選択することができます。カメラ本体の [撮影動作モード] を [セルフタイマー撮影]、[2 秒リモコン撮影]、[瞬時リモコン撮影] に設定した場合、[1 コマ撮影] になります。

[AF& 撮影] / [撮影] ボタン

動作モードが [低速連続撮影] (D2 シリーズ /D200)、[高速連続撮影] (D2 シリーズ / D200) または [連続撮影] (D70S/D70/D50) の場合、Camera Control Pro の [AF& 撮影] ボタンが [AF& 開始] ボタンに、[撮影] ボタンが [開始] ボタンに変わります。

⑤　表紙に戻る　57

①ここをクリックすると、3 つの章それぞれの最初のページに移動します。現在見ている章が濃く表示されています。

②ページのタイトルです。

③機能の説明です。

④青色の文字をクリックすると、関連するページに移動します。リンク先から元のページに戻るには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader の [前の画面] ボタン（ ）をクリックしてください。

⑤ここをクリックすると、表紙に戻ります。

動作環境

Windows

インストールには以下の環境が必要です。インストール前にご確認ください。

CPU	Pentium 300 MHz 以上
OS	Windows XP Home Edition/Professional、 Windows 2000 Professional （すべてプリインストールされているモデルに対応）
ハードディスク	インストール時：50 MB 以上の空き容量 動作時：1 GB 以上の空き容量
メモリー（RAM）	256 MB 以上実装（768 MB 以上実装を推奨）
モニター解像度	800 × 600 ピクセル以上、16 ビット色 (約 65000 色)、24 ビット色 (約 1677 万色) 推奨
インターフェース※1	USB：標準装備された USB ポートのみ対応 IEEE1394：OHCI 準拠のボードのみ対応※2
対応カメラ	D1 シリーズ、D2 シリーズ、D100、D200、D70S、D70、D50
その他	・インストール時に CD-ROM ドライブが必要です。 ・Nikon Message Center 機能を使うには、インターネットに接続できる環境が必要です。

※1 USB ハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

※2 動作確認済みボードをご使用ください。動作確認済みのボードに関しては下記アドレスのホームページのサポート情報でご確認ください。

対応カメラ、対応 OS の最新情報は、下記アドレスのホームページのサポート情報でご確認ください。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm

カメラ名の表記について

本使用説明書では、D1、D1X、D1H をまとめて「D1 シリーズ」と表記します。また、D2Xs、D2X、D2Hs、D2H をまとめて「D2 シリーズ」と表記します。

動作環境

Macintosh

インストールには以下の環境が必要です。インストール前にご確認ください。

CPU	PowerPC G3/G4/G5※1
OS	Mac OS X Version10.3.9 以降
ハードディスク	インストール時：50 MB 以上の空き容量 動作時：1 GB 以上の空き容量
メモリー（RAM）	256 MB 以上実装（768 MB 以上実装を推奨）
モニター解像度	800 × 600 ピクセル以上、16 ビット色 (約 65000 色)、24 ビット色 (約 1677 万色) 推奨
インターフェース※2	USB：標準装備された USB ポートのみ対応 Firewire：標準装備された Firewire ポートのみ対応
対応カメラ	D1 シリーズ、D2 シリーズ、D100、D200、D70S、D70、D50
その他	・インストール時に CD-ROM ドライブが必要です。 ・Nikon Message Center 機能を使うには、インターネットに接続できる環境が必要です。

※1　Intel 製 CPU 搭載の Macintosh での動作は保証しておりません。

※2　USB ハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

対応カメラ、対応 OS の最新情報は、下記アドレスのホームページのサポート情報でご確認ください。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm

カメラ名の表記について

本使用説明書では、D1、D1X、D1H をまとめて「D1 シリーズ」と表記します。また、D2Xs、D2X、D2Hs、D2H をまとめて「D2 シリーズ」と表記します。

インストール

Camera Control Pro をインストールする前に、以下の点についてご確認ください。

- Camera Control Pro の動作環境をご確認ください。
- ウィルスチェック用のソフトウェアは終了させてください。
- 他のアプリケーションソフトウェアはすべて終了させてください。

ご使用のパソコンの OS 名をクリックし、インストール手順をご覧ください。

Windows　　Macintosh

Camera Control Pro がすでにインストールされている場合

すでに Camera Control Pro がインストールされている場合は、インストールの操作中に Camera Control Pro のバージョンに関するダイアログが表示されます。画面の指示にしたがって操作してください。

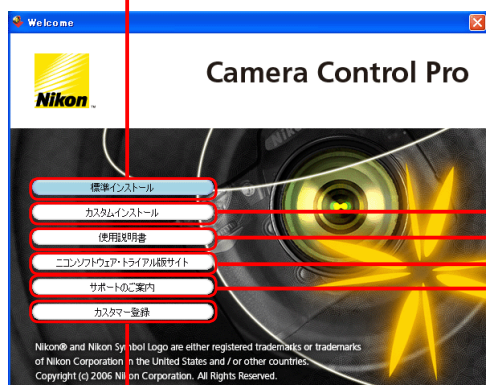
インストール

Camera Control Pro をインストールする際は、「コンピュータの管理者（**Windows 2000** の場合は「Administrators」）」アカウントでログオンしてください。

[Welcome] ウィンドウ

Camera Control Pro ソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れると、地域選択画面が表示されます。[Japan] を選択して [Next] をクリックすると、[Welcome] ウィンドウが自動的に開きます。

標準インストール
必要なソフトウェアがすべてインストールされます。

カスタマー登録
カスタマー登録用のサイトが表示されます。

カスタムインストール
必要に応じてインストールするソフトウェアを選択できます。

使用説明書※
※トライアル版では表示されません。
Camera Control Pro の使用説明書を収録した［Manuals］フォルダが開きます。フォルダ内の［INDEX.pdf］をダブルクリックしてから地域（日本語）を選択すると、使用説明書の表紙が開きます。

ニコンソフトウェア・トライアル版サイト
ニコンのソフトウェアのトライアル版をダウンロードできます。

サポートのご案内
サポートのご案内や、「お読みください」を参照できます。

Camera Control Pro をアンインストールする手順については、Camera Control Pro のアンインストール方法をご覧ください。

地域選択画面が自動的に開かない場合

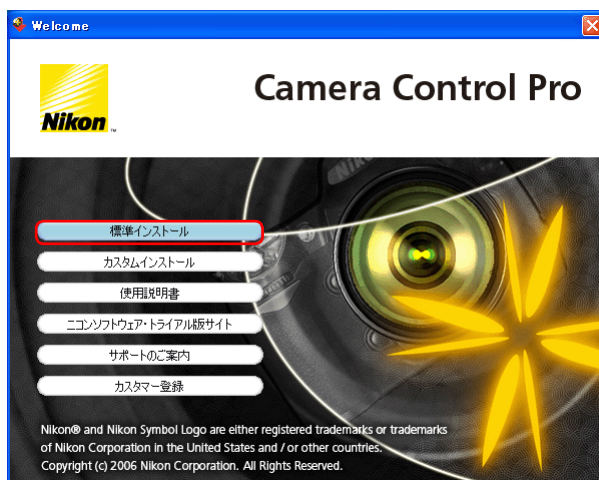
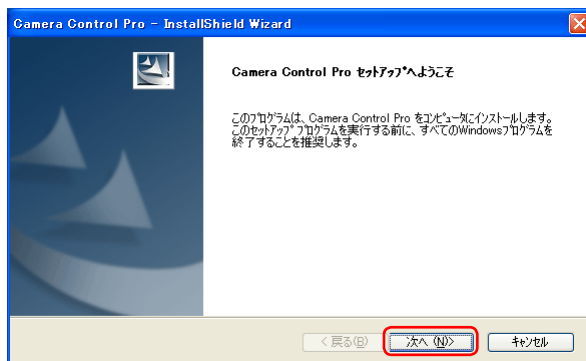
［スタート］メニュー → ［マイコンピュータ］を選択して（**Windows 2000** はデスクトップ上の［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックして）、マイコンピュータウィンドウを開き、その中の CD-ROM（Camera Control Pro）アイコンをダブルクリックします。

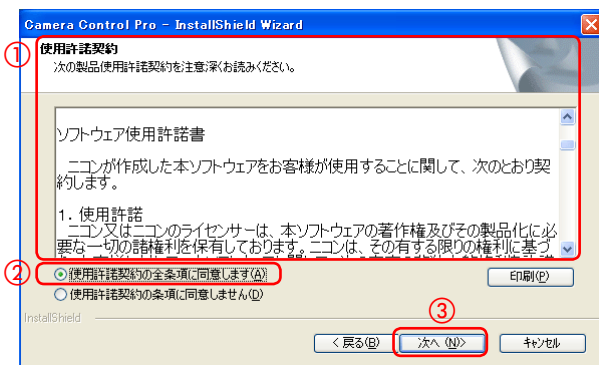
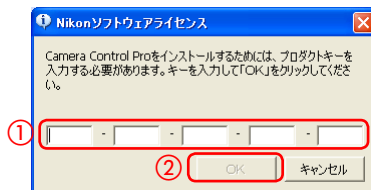
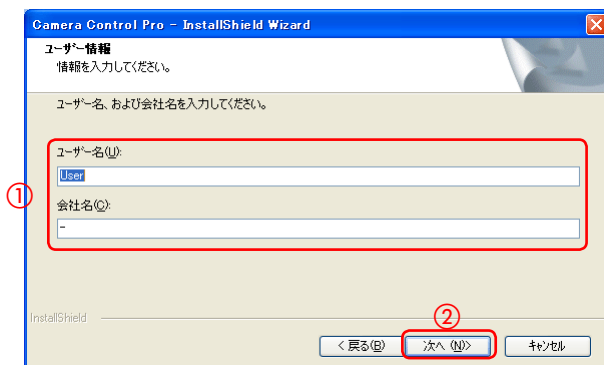
ニコンソフトウェア・トライアル版サイト / サポートのご案内 / カスタマー登録

「ニコンソフトウェア・トライアル版サイト」、「サポートのご案内」、「カスタマー登録」には、インターネットに接続できる環境が必要です。

インストール

以下の手順で Camera Control Pro をインストールしてください。

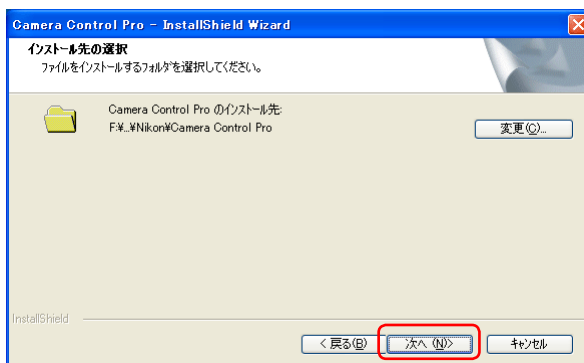
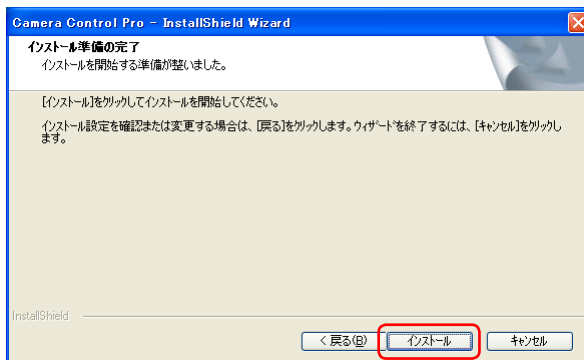
1 ［標準インストール］をクリックしてください。

2 ［次へ］をクリックしてください。

インストール

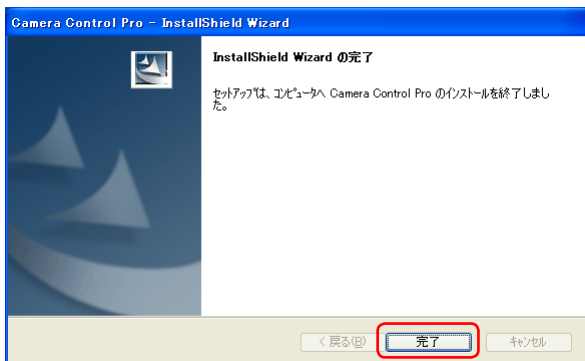
3 使用許諾契約の内容 ① をよくお読みの上、［使用許諾契約の全条項に同意します］を選択 ② してから、［次へ］ ③ をクリックしてください。

4 （トライアル版ではこのステップは表示されません。）パッケージに記載されているプロダクトキーを入力 ① して、［OK］ ② をクリックしてください。

5 ［ユーザー名］と［会社名］を入力 ① してから、［次へ］ ② をクリックしてください。

プロダクトキーについてのご注意

・プロダクトキーは半角で入力してください。

・プロダクトキーは再インストールの際などに必要になりますので、紛失しないようご注意ください。

インストール

6 ［次へ］をクリックしてください（インストール先のフォルダを変更したいときは、その前に［変更］をクリックしてフォルダを選択してください）。

7 ［インストール］をクリックしてください。

インストール

8 ［完了］をクリックしてください。

9 ［はい］をクリックし、Camera Control Pro ソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出してください。

パソコンを再起動するダイアログが表示された場合は、ダイアログにしたがってパソコンを再起動してください。

これで、Camera Control Pro のインストールは完了です。

インストール Macintosh 1/5

Camera Control Pro をインストールする際は、「管理者」権限のアカウントでログインしてください。

[Welcome] ウィンドウ

Camera Control Pro ソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れてから、デスクトップ上の CD-ROM（Camera Control Pro）アイコン（ Camera Control Pro ）をダブルクリックします。開いたフォルダ内の [Welcome] アイコン（ Welcome ）をダブルクリックすると、地域選択画面が表示されます。[日本] を選択して [次へ] をクリックすると、[Welcome] ウィンドウが開きます。

標準インストール

必要なソフトウェアがすべてインストールされます。

カスタマー登録

カスタマー登録用のサイトが表示されます。

使用説明書※

※ トライアル版では表示されません。

Camra Control Pro の使用説明書を収録した [Manuals] フォルダが開きます。フォルダ内の [INDEX.pdf] をダブルクリックしてから地域（日本語）を選択すると、使用説明書の表紙が開きます。

ニコンソフトウェア・トライアル版サイト

ニコンのソフトウェアのトライアル版をダウンロードできます。

サポートのご案内

サポートのご案内や、「お読みください」を参照できます。

Camera Control Pro をアンインストールする手順については、Camera Control Pro のアンインストール方法をご覧ください。

ニコンソフトウェア・トライアル版サイト / サポートのご案内 / カスタマー登録

「ニコンソフトウェア・トライアル版サイト」、「サポートのご案内」、「カスタマー登録」には、インターネットに接続できる環境が必要です。

インストール

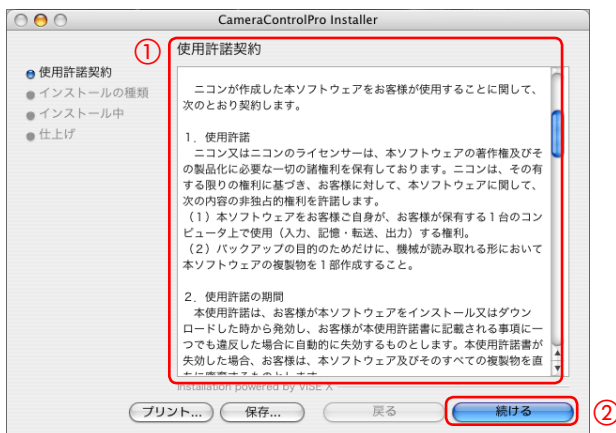
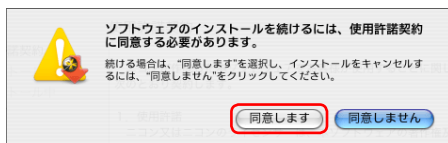
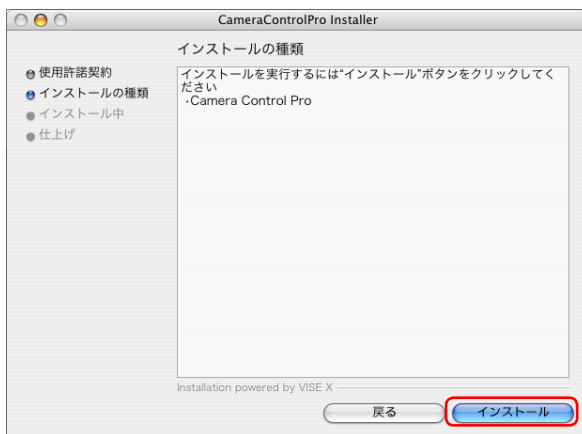
以下の手順で Camera Control Pro をインストールしてください。

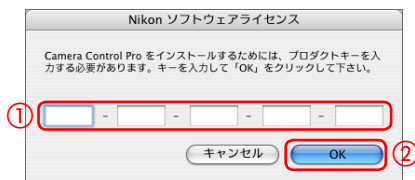
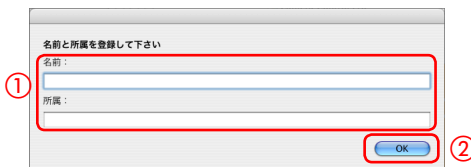
1 ［標準インストール］をクリックしてください。

2 Camera Control Pro のインストールには、管理者の［名前］と［パスワード］が必要となります。管理者の名前とパスワードを入力 ① して、[OK] ② をクリックしてください。

インストール

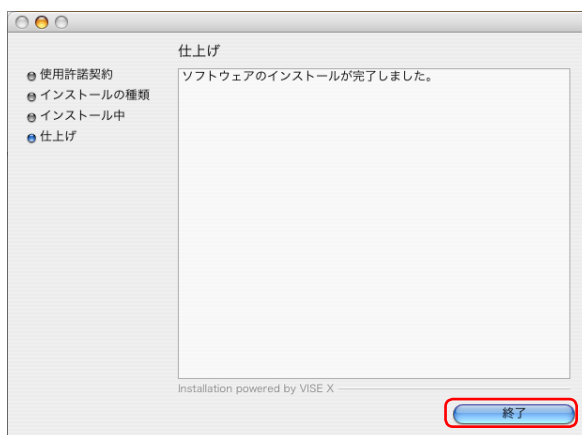
Macintosh 3/5

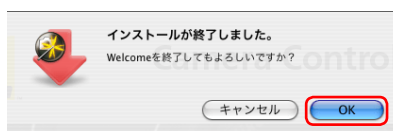
3 使用許諾契約の内容①をよくお読みの上、[続ける]②をクリックしてください。

4 ［同意します］をクリックしてください。

5 ［インストール］をクリックしてください。

インストール

6 （トライアル版ではこのステップは表示されません。）パッケージに記載されているプロダクトキーを入力 ① して、［OK］ ② をクリックしてください。

7 ［名前］ と ［所属］ を入力 ① してから、［OK］ ② をクリックしてください。

8 ［はい］ をクリックしてください。

プロダクトキーについてのご注意

- プロダクトキーは半角で入力してください。
- プロダクトキーは再インストールの際などに必要になりますので、紛失しないようご注意ください。

インストール

9 ［終了］をクリックしてください。

10 ［OK］をクリックして、Camera Control Pro ソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出してください。

これで、Camera Control Pro のインストールは完了です。

ソフトウェアの起動と終了

Camera Control Pro を起動する

1 カメラの電源を OFF にして、カメラと起動済みのパソコンを USB ケーブルまたは IEEE1394（Firewire）ケーブル（D1 シリーズカメラの場合）で接続します。パソコンとの接続方法についてはカメラの使用説明書をご覧ください。

Camera Control Pro を起動する前に

D1 シリーズをお使いの場合：Camera Control Pro を起動する前に、カメラの動作モードを「PC」にしてください。

D100 の場合：露出モードを［P］、［S］、［A］、［M］のいずれかにセットしてください。

D2 シリーズまたは D200 の場合：動作モードを［ミラーアップ撮影］以外にセットしてください。

USB の設定について D2 シリーズ D100 D200 D70S D70 D50

Camera Control Pro を起動する前に、カメラのセットアップメニューの「USB」を次のように設定してください。

OS	D100	D2 シリーズ D200 D70S D70 D50
Windows XP	PTP または Mass Storage	PTP
Windows 2000	Mass Storage	PTP
Mac OS	PTP	PTP

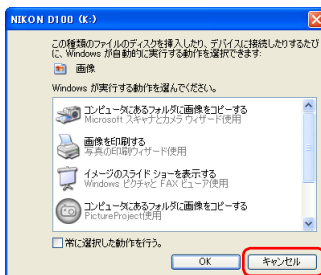
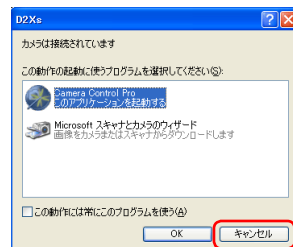
USB を Mass Storage にして Camera Control Pro を使用する場合は、「コンピューターの管理者（***Windows 2000*** の場合は「Administrators」）」アカウントでログオンしてください。

ソフトウェアの起動と終了

2 カメラの電源スイッチを ON にします。

PictureProject Transfer またはニコン トランスファが起動したときは、終了してください。

Windows XP のパソコンにカメラを USB ケーブルで接続した場合

カメラとパソコンを USB ケーブルで接続すると、以下のような［リムーバブルディスク］ダイアログ（USB 通信方式が Mass Storage の場合）や、起動に使うプログラムを選択するダイアログ（USB 通信方式が「PTP」の場合）が表示されることがあります。

Mass Storage

PTP

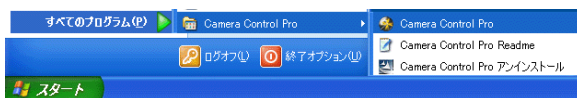
［キャンセル］ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。

ソフトウェアの起動と終了

3 Camera Control Pro を以下の方法で起動します。

Windows

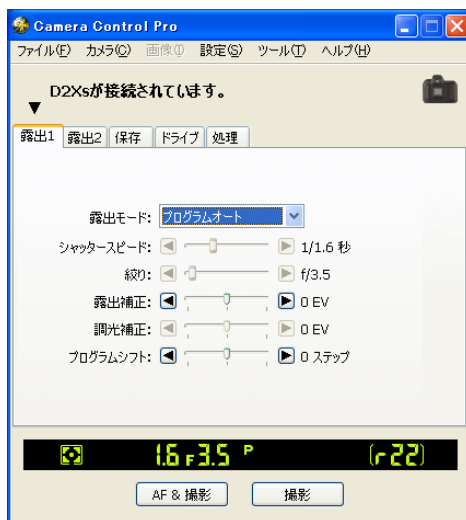
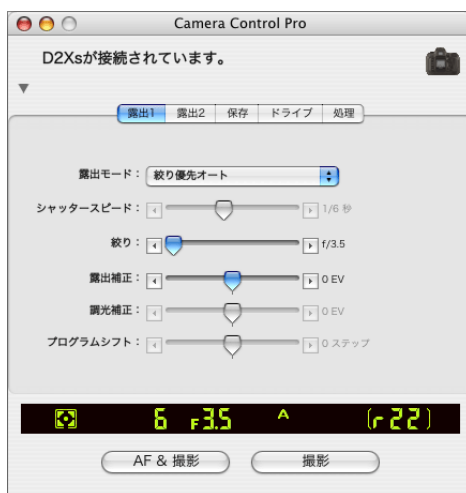
方法①：デスクトップ上の［Camera Control Pro］のショートカットアイコンをダブルクリックする。

方法②：［スタート］メニュー →［すべてのプログラム（**Windows 2000** は［プログラム］)］→［Camera Control Pro］→［Camera Control Pro］を選択する。

Macintosh

方法①：Dock に登録したアイコンをクリックする。

方法②：［アプリケーション］→［Nikon Software］→［Camera Control Pro］の順にフォルダを選択し、［Camera Control Pro］アイコンをダブルクリックする。

ソフトウェアの起動と終了

4［Camera Control Pro］ウィンドウが起動します。

Windows

Macintosh

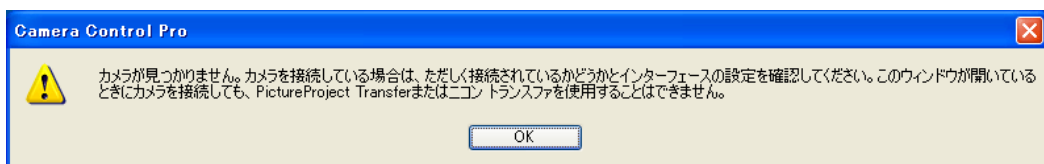
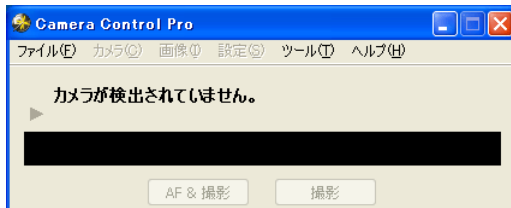
ソフトウェアの起動と終了

プロダクトキーの入力

ソフトウェアの起動時にプロダクトキーの入力画面が表示された場合は、パッケージに記載されているプロダクトキーを入力してから、［OK］ボタンをクリックしてください。プロダクトキーは再インストールの際などに必要になりますので、紛失しないようご注意ください。

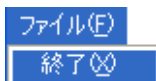
トライアル版をご使用の場合は、起動のたびに、プロダクトキーの入力画面が表示されます。［トライアル］ボタンをクリックすると、Camera Control Pro をご試用（30 日間）いただけます。［オンラインショップへ］ボタンをクリックすると、プロダクトキーの購入サイトが表示されます。

重要

Camera Control Pro を起動する前に、カメラとパソコンが接続されていない、またはカメラの電源スイッチが OFF になっている場合には、次の警告ダイアログが表示されます。

警告ダイアログの［OK］ボタンをクリックすると、［Camera Control Pro］ウィンドウが以下のように表示されます。この場合、主な機能を使用することができません。カメラの電源スイッチが ON になっていて、カメラが正しくパソコンに接続されていることを確認の上、Camera Control Pro を再度起動してください。

ソフトウェアの起動と終了

Camera Control Pro を終了する

Windows

［ファイル］メニューから［終了］を選択する。

Macintosh

[Camera Control Pro] メニューから [Camera Control Pro を終了] を選択する。

ソフトウェアの起動と終了

カメラとパソコンの接続を解除する

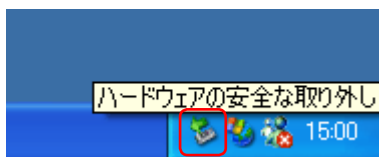
カメラとパソコンの接続を解除する際は、必ず以下の手順をお守りください。

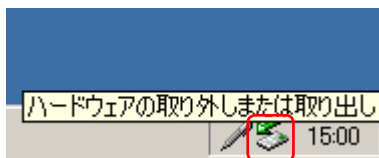
USB 通信方式が「PTP」のカメラや IEEE1394（Firewire）対応カメラと接続した場合：

カメラの電源をオフにして、接続ケーブルを取り外してください。

USB 通信方式が「Mass Storage」のカメラと接続した場合：

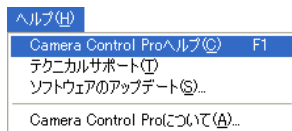
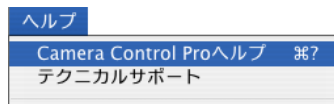
Windows XP

パソコン画面右下の［ハードウェアの安全な取り外し］アイコンをクリックして［USB 大容量記憶装置デバイスードライブ（F:）※を安全に取り外します。］を選択してください。

Windows 2000

パソコン画面右下の［ハードウェアの取り外しまたは取り出し］アイコンをクリックして［USB 大容量記憶装置デバイスードライブ（F:）※を停止します］を選択してください。

※ ドライブ（F:）の「F」は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

ヘルプの表示

操作方法についてわからないことがあった場合は、ヘルプをご参照ください。

［ヘルプ］メニューから［Camera Control Pro ヘルプ］を選択すると、Camera Control Pro のヘルプ画面が表示されます。

Windows

Macintosh

ソフトウェアの更新

Camera Control Pro をインストールすると、自動的に Camera Control Pro などの更新情報をチェックするニコンメッセージセンター（Nikon Message Center）というソフトウェアがインストールされます。ご使用のパソコンがインターネットに接続されているときに Camera Control Pro を起動すると、ニコンメッセージセンターは Camera Control Pro の更新情報などをチェックします（初期設定）。更新情報がある場合は、Nikon Message Center ダイアログが自動的に表示されます。

メニューから Camera Control Pro を更新する場合

[ヘルプ] メニューから [ソフトウェアのアップデート] を選択しても、新しいバージョンの Camera Control Pro があるかをチェックできます。

ソフトウェアアップデートについてのご注意

ソフトウェアをアップデートする際は、ご使用のパソコンがインターネットに接続できる環境である必要があります。また、インターネットサービスプロバイダの使用料や電話料金がかかることがあります。

接続の解除について

ダイアルアップ接続でアップデートする場合、アップデートが完了しても、インターネット接続は解除されません。手動で接続を解除してください。

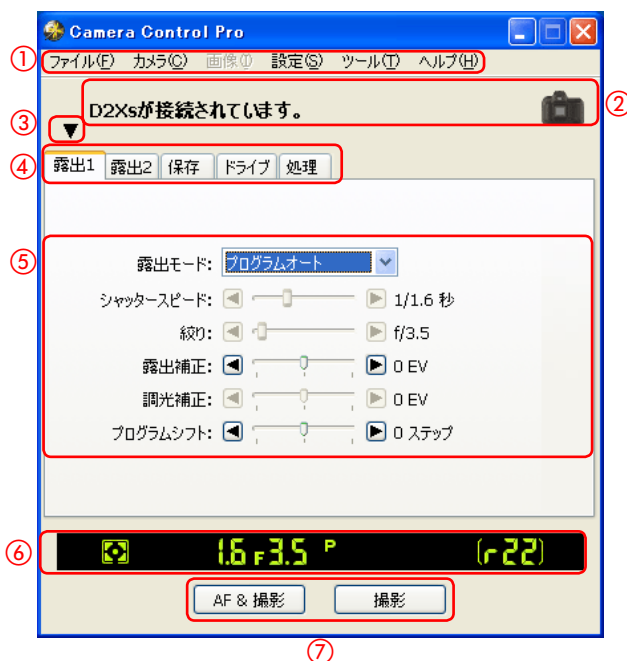
プライバシーポリシーについて

本サービスにより提供されたお客様の個人情報を、お客様の同意なしに第三者に開示することはございません。

操作ガイド

Camera Control Pro の画面構成

Camera Control Proの画面構成は以下のようになっています（画像はD2Xsの例です）。

Windows

① **メニューバー**

② 接続表示 : カメラの接続状態、接続されているカメラの名前などが表示されています。

③ 表示切り換えボタン ▼ / ▶ : パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルの表示 / 非表示を切り換えることができます。

④ **パネル選択用タブ** : クリックすると、該当する Camera Control Pro パネルが開きます。

⑤ Camera Control Pro パネル : カメラ側の各種設定を行うことができます。

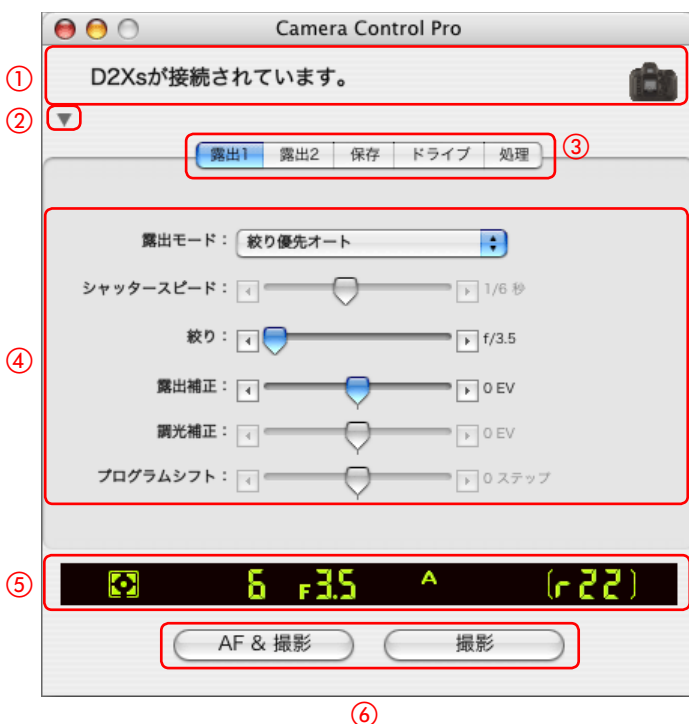
⑥ LCD 領域 : カメラの「ファインダー内表示」と同様の情報が表示されています。

⑦ 撮影ボタン : カメラのシャッターボタンと同様の機能です。

表示の切り換えについて

表示の切り換えは、メニューで行うこともできます。［ツール］メニューの［カメラコントロールパネルを隠す］を選択すると、パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルを非表示にします。［カメラコントロールパネルを表示する］を選択すると、パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルを表示します。

Camera Control Pro の画面構成 2/2

Macintosh

① 接続表示 : カメラの接続状態、接続されているカメラの名前などが表示されています。

② 表示切り換えボタン ▼ / ▶ : パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルの表示 / 非表示を切り換えることができます。

③ **パネル選択用タブ** : クリックすると、該当する Camera Control Pro パネルが開きます。

④ Camera Control Pro パネル : カメラ側の各種設定を行うことができます。

⑤ LCD 領域 : カメラの「ファインダー内表示」と同様の情報が表示されています。

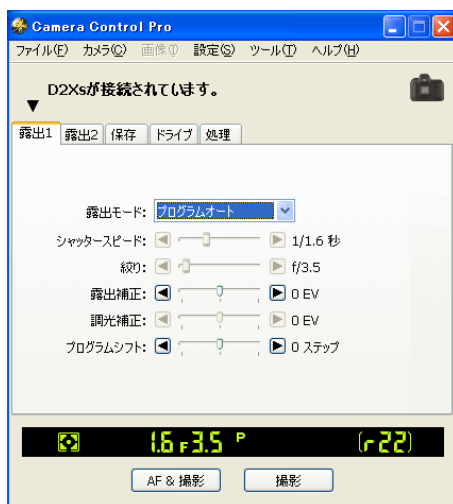
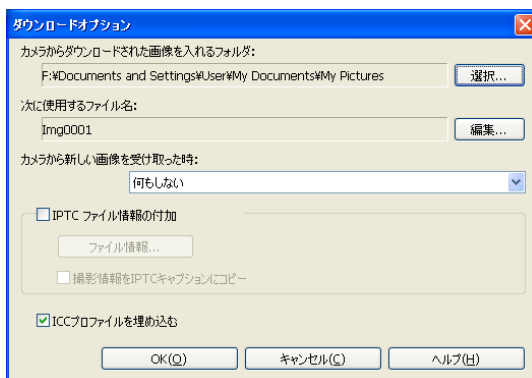
⑥ 撮影ボタン : カメラのシャッターボタンと同様の機能です。

表示の切り換えについて

表示の切り換えは、メニューで行うこともできます。［ツール］メニューの［カメラコントロールパネルを隠す］を選択すると、パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルを非表示にします。［カメラコントロールパネルを表示する］を選択すると、パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルを表示します。

これから撮影する画像をハードディスクに保存する 1/7

Camera Control Pro を起動した状態で撮影を行うと、撮影した画像はカメラ内のメモリーカードには記録されず、パソコンのハードディスクに保存されます。カメラで直接操作する他に、［Camera Control Pro］ウィンドウの［AF& 撮影］／［撮影］ボタンを使って、パソコンから画像を撮影することもできます。

1 Camera Control Pro を起動します。

2 ［ツール］メニューの［ダウンロードオプション ...］を選択します。
次のような［ダウンロードオプション］ダイアログが表示されます。

これから撮影する画像をハードディスクに保存する　2/7

3 撮影画像の保存先、ファイル名、転送後の操作、ファイル情報の設定を行います。

[カメラからダウンロードされた画像を入れるフォルダ]

保存先フォルダ名が表示されます。フォルダを変更する場合は、［選択］ボタンをクリックして、撮影した画像を保存するフォルダを指定します。

[次に使用するファイル名]

保存するファイル名が表示されます。ファイル名を変更する場合は、［編集］ボタンをクリックします。［ファイル名の作成ルール］ダイアログが表示されます。

ファイル名は「プレフィックス＋識別子＋サフィックス＋拡張子」で構成されます。変更したファイル名は、画面下の［サンプル］で確認できます。

ステップ３次ページへ続く

拡張子について

変更するファイル名には、自動的に拡張子が付きます。拡張子は、JPEG の場合には .JPG、TIFF の場合には .TIF、RAW の場合には .NEF、イメージダストオフデータの場合には .NDF になります。

これから撮影する画像をハードディスクに保存する 3/7

[プレフィックス]	ファイル名の先頭に使用したい文字を入力できます。
[サフィックス]	ファイル名の末尾に使用したい文字を入力できます。
[命名方法]	識別子の付け方を [連番]、[日付]、[日付と時間] から選択できます。連番の場合は開始番号と桁数 (2 ～ 8 桁) を設定できます。

ファイル名を変更してから［OK］ボタンをクリックすると、［ダウンロードオプション］ダイアログに戻ります。

ステップ３次ページへ続く

ファイル名の制限事項について

ファイル名を指定する際には、次のことに留意してください。

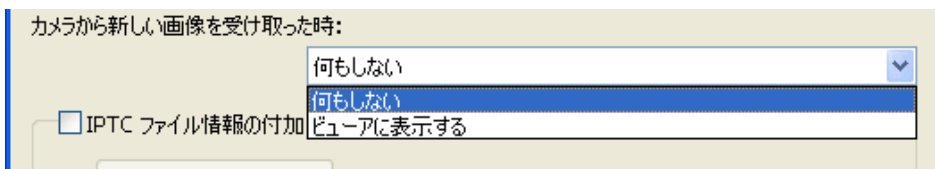
Windows

ファイル名には、「¥」、「/」、「:」、「*」、「?」、「”」、「<」、「>」、「¦」は使用できません。「.」は、ファイル名の先頭または末尾では使用できません。

Macintosh

ファイル名は半角で 31 文字以内になるように指定してください。また、ファイル名で「:」は使用できません。

これから撮影する画像をハードディスクに保存する　4/7

[カメラから新しい画像を受け取った時]

カメラから新しい画像を受け取ったときの動作を設定できます。

[何もしない]	撮影した画像を直接ハードディスクに保存します。
[ビューアに表示する]	撮影した画像をハードディスクに保存した後、[ビューア］ウィンドウが自動的に起動し、撮影直後にパソコンで画像を確認することができます。
[Capture NX の監視フォルダに保存する]（Capture NX がインストールされている場合に表示）	Capture NX（別売）の「監視フォルダ」で設定しているフォルダ内に撮影した画像が保存され、Capture NX であらかじめ設定していた各種画像調整内容をもとに自動保存処理（バッチ処理）を行います。これにより、Nikon Capture のカメラコントロールの「自動保存」と同様の処理を行うことができます。監視フォルダの機能については Capture NX の使用説明書をご覧ください。
[PictureProject に登録する]（PictureProject がインストールされている場合に表示）	撮影した画像をハードディスクに保存した後、PictureProject が自動的に起動し、撮影直後にパソコンで画像を確認することができます。最後に撮影された画像が PictureProject に自動的に表示されます（PictureProject の［ファイル］メニューの［カメラコントロール］にある［撮影した写真を自動選択する］にチェックが入っている場合のみ）。PictureProject の使用方法については、PictureProject のソフトウェア使用説明書をご覧ください。

ステップ３次ページへ続く

これから撮影する画像をハードディスクに保存する　5/7

[IPTC ファイル情報の付加]

チェックボックスをオン ☑ にすると、転送する画像ファイルに［ファイル情報］ダイアログで設定した情報を付加します。また、このチェックボックスをオン ☑ にすると、[ファイル情報] ボタンと [撮影情報を IPTC キャプションにコピー］チェックボックスが使えるようになります。

［ファイル情報］ボタン

キャプション、キーワードなどのファイル情報の読み込みと保存を行うことのできる［ファイル情報］ダイアログを表示します。

[撮影情報を IPTC キャプションにコピー]

チェックボックスをオン ☑ にすると、Camera Control Pro で撮影した画像の撮影情報がファイル情報のキャプションにコピーされます。

[埋め込み ICC プロファイル]

チェックボックスをオン ☑ にすると、撮影した画像が JPEG または TIFF の場合に、カメラで設定した色空間の ICC プロファイルを埋め込んだ状態で転送します。

4 設定が完了したら、[OK］ボタンをクリックします。［ダウンロードオプション］ダイアログで設定した内容が確定されます。

画像真正性検証機能が ON に設定されている場合 D2Xs

- カメラのセットアップメニューの「画像真正性検証機能」が ON の場合、［IPTC ファイル情報の付加］チェックボックスをオン ☑ にしても、画像の保存時に IPTC ファイル情報は付加されません。また、［埋め込み ICC プロファイル］のチェックボックスをオン ☑ にしても、ICC プロファイルは画像に埋め込まれません。
- 画質モードが TIFF に設定されている場合、「画像真正性検証機能」は ON に設定されていても、無効になります。

これから撮影する画像をハードディスクに保存する 6/7

5 カメラの向きに合わせて、撮影する画像に縦横位置情報を付加することができます。カメラを縦位置にして撮影する場合に便利です。縦横位置情報を付加すると、Capture NX（別売）、PictureProject などの縦横位置情報を反映できるニコン製のソフトウェアで画像を開くときに、自動的に回転して表示されます。

セットアップメニューで［縦横位置情報の記録］が設定できるカメラ（D2 シリーズ、D200）や［姿勢情報記録］が設定できるカメラ（D70S、D70、D50）の場合、カメラ側ですでに記録する設定（ON）になっていると、Camera Control Pro で縦横位置情報の設定を行うことはできません。

［画像］メニューから、［すべての読み込み画像を反時計方向に 90 度回転］または［すべての読み込み画像を時計方向に 90 度回転］を選択します。選択したメニュー項目にはチェックが付けられます。

［すべての読み込み画像を反時計方向に 90 度回転］

チェックすると、これから撮影する画像に縦横位置情報（反時計方向に 90 度回転）を付加して保存します。

［すべての読み込み画像を時計方向に 90 度回転］

チェックすると、これから撮影する画像に縦横位置情報（時計方向に 90 度回転）を付加して保存します。

チェックの付いたメニュー項目を再度選択すると、チェックが外れます。チェックを外すと、縦横位置情報を付加しません。カメラの向きにかかわらず、撮影する画像の向きは横位置となります。

連写時の画像の回転について D2 シリーズ D200 D70S D70 D50

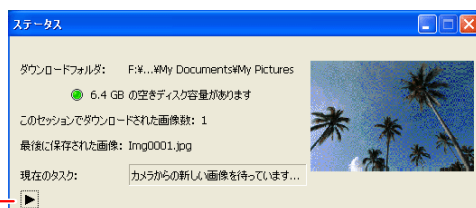
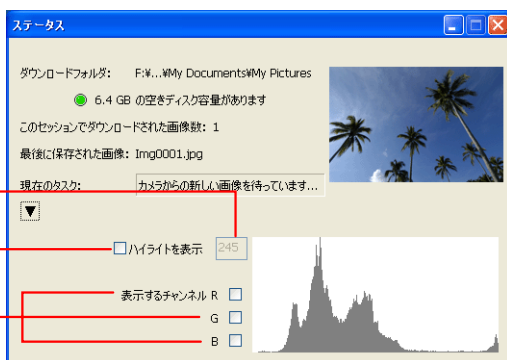
以下の設定の場合、画像の回転の向きは、連写の 1 番目の画像の向きに固定されます。

- カメラの［動作モード］が［高速連続撮影］または［低速連続撮影］に設定されている場合 D2 シリーズ D200
- カメラの［撮影動作モード］が［連続撮影］に設定されている場合 D70S D70 D50

画像真正性検証機能が ON に設定されている場合 D2Xs

- カメラのセットアップメニューの「画像真正性検証機能」が ON の場合、［すべての読み込み画像を反時計方向に 90 度回転］または［すべての読み込み画像を時計方向に 90 度回転］をチェックしても、縦横位置情報は付加されません。
- 画質モードが TIFF に設定されている場合、「画像真正性検証機能」は ON に設定されていても、無効になります。

これから撮影する画像をハードディスクに保存する 7/7

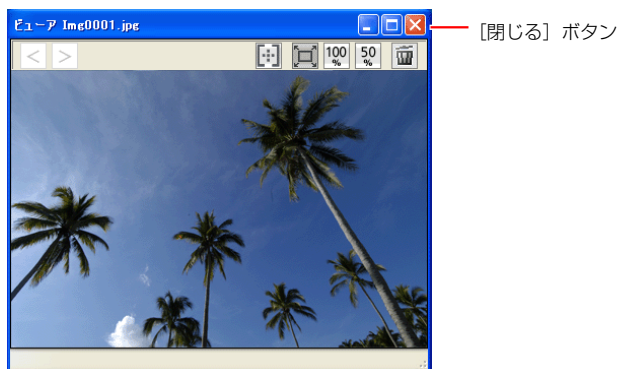
6 カメラのシャッターボタンを押して撮影を行います。画像の保存処理の進行状態を表す［ステータス］ダイアログが起動します。

［ステータス］ダイアログの下の部分に表示されている切り換えボタン ▶ をクリックすると、最後に撮影された画像のおおよそのヒストグラムが表示されます。

［ハイライトを表示］チェックボックスをオン ☑ にすると、［ステータス］ダイアログ上の画像のテキストボックスに入力した輝度値を超えた部分が黒く点滅してハイライト表示されます。

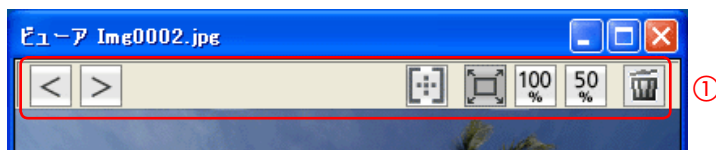
［表示するチャンネル:RGB］の各チェックボックスをオン ☑ にすることにより、赤、緑、青のチャンネルごとの個別ヒストグラムも表示することができます。

7 撮影が終了したら、［閉じる］ボタン ☒ をクリックして、［ステータス］ダイアログを閉じます。

撮影した画像を確認する

［ダウンロードオプション］ダイアログの［カメラから新しい画像を受け取った時］で［ビューアに表示する］を選択すると、画像を撮影してハードディスクに保存した後、以下のような［ビューア］ウィンドウが起動して、撮影した画像を表示します。

［ビューア］ウィンドウは、［ツール］メニューの［ビューアを表示］を選択して起動することもできます。このとき、［ダウンロードオプション］ダイアログの［カメラからダウンロードされた画像を入れるフォルダ］で設定されたフォルダ内のもっとも新しい画像を表示します。

［ビューア］ウィンドウを終了するには、［閉じる］ボタンをクリックします。

撮影した画像を確認する

［ビューア］ウィンドウのボタン ① では、以下の操作が行えます。

ボタン	機能	説明
<	前の画像に戻る	現在表示されている画像の 1 つ前の画像を表示します。
>	次の画像に進む	現在表示されている画像の 1 つ先の画像を表示します。
	フォーカスエリア表示	［ビューア］ウィンドウ上の画像内に撮影時に使用したフォーカスエリアを赤色で表示します。
	全体表示	［ビューア］ウィンドウの枠内に収まる大きさで画像全体が表示されます。最大の表示倍率は 100% です。
100 %	等倍表示	画像が原寸大で表示されます。
50 %	50% 表示	画像が原寸の 50% の大きさで表示されます。
	削除	現在表示している画像を削除します。

フォーカスエリア表示についてのご注意

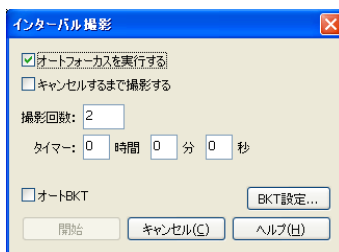
以下の場合、フォーカスエリアは表示されません。

- ニコン製デジタル一眼レフカメラ以外のカメラで撮影した画像
- 非 CPU レンズを装着して撮影した画像
- マニュアルフォーカスで撮影した画像
- ファインダー内のピント表示が消灯した状態で撮影した画像
- 他のアプリケーションで編集した画像

インターバル撮影

インターバル撮影とは、一定間隔で複数枚を連続撮影することです。タイマーを設定し、自動で撮影することが可能です。

1 ［カメラ］メニューの［インターバル撮影］を選択します。

［インターバル撮影］ダイアログが表示されます。

インターバル撮影

2 次の項目を設定します。

［オートフォーカスを実行する］

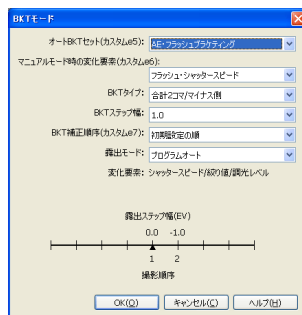
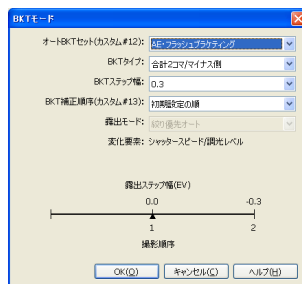
チェックボックスをオン ☑ にすると、撮影ごとにオートフォーカスを実行します。ただし、オフ ☐ の場合でも、フォーカスモードが「シングル AF サーボ」または「AF-A（D50 のみ）」の場合はオートフォーカスを実行します。

［キャンセルするまで撮影する］

チェックボックスをオン ☑ にすると、インターバル撮影進行ダイアログの［撮影を終了］ボタンをクリックするまでインターバル撮影を行います。

BKT モードの設定（D2 シリーズ /D200/D70S/D70/D50）

［オート BKT］チェックボックスをオン ☑ にすると、オートブラケティングが実行されます。［BKT 設定］ボタンをクリックすると、［BKT モード］ダイアログでブラケティングを設定できます。

項目	説明
［オート BKT セット］	オートブラケティングを行う場合のブラケティングの種類を設定します。
［マニュアルモード時の変化要素］ D2 シリーズ　D200	露出モードを［M］にセットして、AE･SB ブラケティング、または AE ブラケティングを行った場合の変化要素を設定します。
［BKT タイプ］ D2 シリーズ　D200　D70S　D70	オートブラケティング時の撮影コマ数と補正範囲を設定します。
［BKT ステップ幅］	オートブラケティング時の補正ステップ幅を設定します。
［BKT 補正順序］ D2 シリーズ　D200　D70S　D70	オートブラケティングの補正順序を設定します。
［露出モード］	露出モードを選択します。

D2 シリーズ /D200
（画面は D2Xs です）

D70S/D70/D50
（画面は D70 です）

インターバル撮影

3 ［撮影回数］に連続撮影する回数を 2 ～ 9999 の範囲で入力します。

［キャンセルするまで撮影する］チェックボックスがオン ☑ のときは入力できません。

4 ［タイマー］に撮影間隔を 1 秒から 99 時間 59 分 59 秒の範囲で入力します。

5 インターバル撮影を開始します。

［開始］ボタンをクリックすると、インターバル撮影が始まります。

- ［ダウンロードオプション］ダイアログの［カメラから新しい画像を受け取った時］で［Capture NX の監視フォルダに保存する］（Capture NX がインストールされている場合のみ）が選択されている場合、Capture NX（別売）の「監視フォルダ」で設定しているフォルダ内に撮影した画像が保存され、Capture NX であらかじめ設定していた各種画像調整内容をもとに自動保存処理（バッチ処理）を行います。これにより、Nikon Capture のカメラコントロールの「自動保存」と同様の処理を行うことができます。監視フォルダの機能については Capture NX の使用説明書をご覧ください。

撮影間隔の設定について

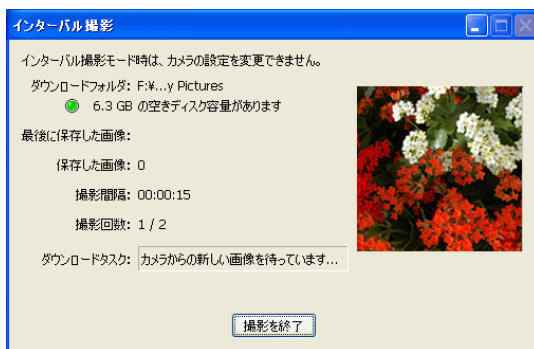
撮影間隔の設定時には、以下のことに注意してください。

- 実際のインターバル撮影には、タイマー時間、シャッター速度の時間、データ転送時間、Camera Control Pro が処理を行う時間などが含まれます。そのため、設定した撮影間隔や画像のファイルサイズによっては、設定した間隔で撮影できない場合があります。
- D1 シリーズでリチャージャブルバッテリー使用時に、オプション（環境設定）の［一般］パネルにある［半押しタイマーの作動時間］を 15 分に設定している場合は、撮影間隔を 15 分以上に設定しないでください。15 分以上の撮影間隔を設定したい場合は、AC アダプターをご使用ください。

重要

［インターバル撮影］ウィンドウを閉じるまで、他のウィンドウは操作できません。

インターバル撮影

6 インターバル撮影処理進行ダイアログが表示されます。
インターバル撮影を中止するときは、［撮影を終了］ボタンをクリックします。

7 インターバル撮影が終了すると、［撮影を終了］ボタンが［撮影を完了］ボタンに変わります。［撮影を完了］ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

インターバル撮影中のカメラ操作について

インターバル撮影中には、カメラの操作を行うことはできません。

警告ボタン

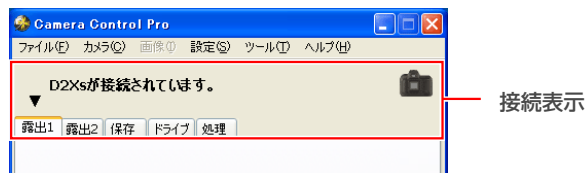
撮影時または処理中にエラーが発生した場合、［撮影を終了］（または［撮影を完了］）ボタンの隣に警告ボタン が表示されます。警告ボタン をクリックすると、警告メッセージが表示されます。指示に従い、［撮影を終了］（または［撮影を完了］）ボタンをクリックして、撮影を終了します。［エラーログ］ダイアログが開いて、発生したエラーのログが表示されます。［エラーログ］ダイアログの［OK］ボタンをクリックすると、［Camera Control Pro］ウィンドウに戻ります。

ハードディスクの空き容量が足りなくなった場合は

撮影時にハードディスクの空き容量が足りなくなった場合は、残りの空き容量を知らせるメッセージが表示されます。メッセージにしたがって、保存先または［撮影回数］を変更してください。

Camera Control Pro の各機能

［Camera Control Pro］ウィンドウの各パネルには、現在カメラに設定されている値が表示されます。タブをクリックしてパネルを表示させ、設定内容を参照したり、変更することができます。各パネルの項目の内容は、この後の「Camera Control Pro パネルの設定」を参照してください。

接続表示

カメラの接続状況を表示します。

［カメラ名］ 現在接続しているカメラ名を表示します。

［カメラの向き］アイコン　D2 シリーズ　D200　D70S　D70　D50

現在接続しているカメラの向きを表します。［水平］、［時計回りに 90°回転］、［反時計回りに 90°回転］の 3 種類のアイコンが表示されます。

カメラのセットアップメニューの［縦横位置情報の記録］（D2 シリーズ、D200）または［姿勢情報記録］（D70S、D70、D50）が記録する設定（ON）の場合のみ有効です。記録しない設定（OFF）の場合は、［カメラの向き］アイコンは表示されません。

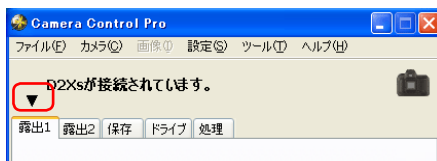
水平

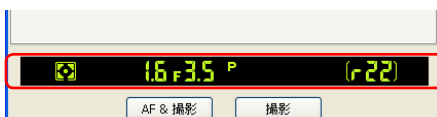
時計回りに 90°回転

反時計回りに 90°回転

Camera Control Pro の各機能

表示切り換えボタン ▼ / ▶

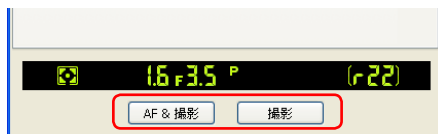
表示切り換えボタン▼ / ▶ をクリックすると、パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルの表示 / 非表示を切り換えることができます。

LCD 領域

ウィンドウの下部にある LCD 領域には、カメラの「ファインダー内表示」と同様の情報が表示されます。ただし、カメラのエラー情報が表示されないなどの若干の違いがあります。

変更可能な項目を LCD 領域でクリックすると、［Camera Control Pro］ウィンドウの該当するパネルが自動的に表示されます。

D2 シリーズ、D200、D70S、D70、D50 の場合、LCD 領域の右端にカメラのバッファの連続撮影可能コマ数が表示されます。Camera Control Pro は、定期的にカメラから連続撮影可能コマ数を取得して表示するため、カメラ本体に表示される実際の連続撮影可能コマ数との間に一時的にずれが生じる場合があります。

Camera Control Pro の各機能

撮影ボタン

現在のカメラ設定で、または設定内容を変更したあとで、以下のうちいずれかのボタンをクリックすると撮影できます。

[AF & 撮影]	自動的に一度ピントを合わせてから撮影します。
[撮影]	クリックと同時に撮影します。なお、フォーカスモードが「シングル AF サーボ」または「AF-A（D50 のみ）」の場合は、自動的に一度ピントを合わせてから撮影します。

また、D2 シリーズ、D200 で［動作モード］を［低速連続撮影］または［高速連続撮影］、D70S、D70、D50 で［撮影動作モード］を［連続撮影］に設定すると、［AF& 撮影］ボタンが［AF& 開始］ボタンに、［撮影］ボタンが［開始］ボタンに変わって、パソコンからの連続撮影が可能になります。

[AF & 開始]	自動的に一度ピントを合わせてから連写を開始します。
[開始]	クリックと同時に連写を開始します。なお、フォーカスモードが「シングル AF サーボ」または「AF-A（D50 のみ）」の場合は、自動的に一度ピントを合わせてから撮影します。

D100 のファンクションダイヤルについて

ファンクションダイヤルが［WB］、［ISO］、［QUAL］または［+］に設定されている場合は、［LCD 領域］には何も表示されません。また、撮影ボタンを使って画像の撮影を行うことはできません。ファンクションダイヤルを［P］、［S］、［A］、［M］のいずれかの露出モードに設定してください。

補足 D1 シリーズ D100

連続撮影はカメラ本体のシャッターボタン操作でのみ可能です。［Camera Control Pro］ウィンドウの撮影ボタンでは、常に 1 枚ずつの撮影になります。

Camera Control Pro の各機能

重要

カメラコントロール機能では、次のカメラ制御はできません。カメラ本体を直接操作してください。

	機能	カメラ機種
表示も制御もできない機能	連写	D1 シリーズ D100
	コンティニュアスフォーカス機能	対応するすべての機種
	フォーカスロック	対応するすべての機種
	AF のみの動作（［AF & 撮影］ボタンによる撮影時の AF を除く）	対応するすべての機種
	絞りリングによる絞り制御（カスタムセッティングに依存）	D1 シリーズ D2 シリーズ D200
	スリープの解除	D1 シリーズ
	被写界深度のプレビュー	対応するすべての機種
	ブラケティング制御	D1 シリーズ D100
	RAW 画像の圧縮	D100
	ファンクションボタンの機能	D2 シリーズ D200
	撮影動作モードのセルフタイマー撮影の設定	D2 シリーズ D200 D70S D70 D50
	撮影動作モードのリモコン撮影の設定	D70S D70 D50
制御できないが表示のみ可能な機能	セレクトダイヤルによるフォーカスモード切り換え	対応するすべての機種
	測光モード切り換え	D1 シリーズ D100
	露出モード切り換え **	D100 D70S D70 D50
	撮影動作モード切り換え	D100
	シャッタースピードのロック *	D1 シリーズ D2 シリーズ
	絞りのロック *	D1 シリーズ D2 シリーズ
	AE ロック *	対応するすべての機種
	別売スピードライトの調光補正量	D1 シリーズ D2 シリーズ
	動作モードのミラーアップの設定	D2 シリーズ D200
	グループダイナミック AF の分割パターン 2 の中心位置パターン	D2 シリーズ D200

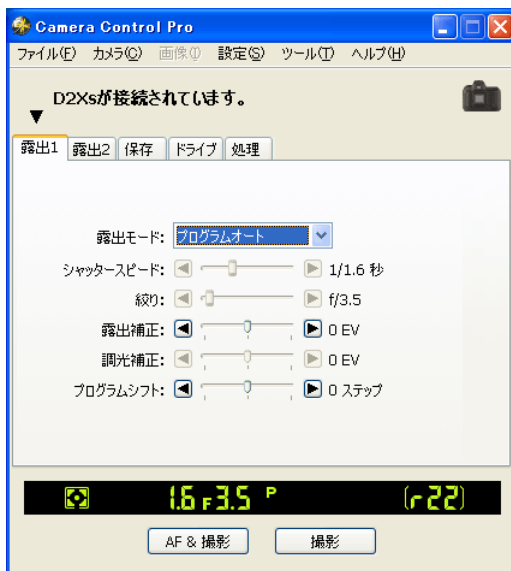
* これらのロックの状態は、LCD 表示エリアにて確認することができます。

** D70S、D70、D50 の場合、［カメラ本体のコントロールを有効にする］がチェックされていないときは、「露出モードの切り換え」が制御可能となります。

Camera Control Pro パネルの設定

以下に、各パネルで設定できる項目について説明します。

[露出 1] パネル

[露出 1] パネルでは、次の項目を設定できます。

[露出モード]	露出モードを選択することができます（非 CPU レンズを装着した場合の露出モードについては、「非 CPU レンズを装着した場合」をご覧ください）。 D70S、D70、D50 で［カメラ本体のコントロールを有効にする］がチェックされている場合および D100 では、カメラ側で設定されている露出モードが表示されますが、Camera Control Pro で変更することはできません。露出モードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご参照ください。
[シャッタースピード]	露出モードが「マニュアル」または「シャッター優先オート」のときにだけ変更できます。各カメラに設定可能なシャッタースピードの範囲でシャッタースピードを変更できます。シャッタースピードを高速に設定すると、動いている被写体を止まっているように撮影できます。逆に、スピード感を出したいときは、シャッタースピードを低速に設定します。

Camera Control Pro パネルの設定

[露出 1] パネル	
[絞り]	露出モードが［マニュアル］または［絞り優先オート］のとき、開放絞り値から最小絞り値の範囲で絞り値を変更できます。絞り値が大きいほど、絞りは小さくなります。ただし、D1 シリーズのカスタムセッティング No.22 で［レンズの絞りリングによる絞りセット］を行っている場合は変更できません。非 CPU レンズを装着したカメラを接続した場合については「非 CPU レンズを装着した場合」をご覧ください。
[露出補正]	露出補正とは、カメラが適切と判断した露出値を意図的に変更することです。たとえば、被写体にコントラストの強いものがあるために露出をずらして撮影する場合などに使用します。露出補正は、すべての露出モード時に変更できます。
[調光補正] D100 D200 D70S D70 D50	調光補正とは、フラッシュとカメラが行う適正な調光を意図的に変えることをいいます。たとえば、発光量を多くして主要被写体を一段と明るく照らしたいとき、あるいは発光量を少なくして、主要被写体に光が強く当たりすぎないようにしたいときなどに使用します。
[プログラムシフト]	露出モードが［プログラムオート］のとき、シャッタースピードと絞りの組み合わせを変更できます。

D100 のファンクションダイヤルについて

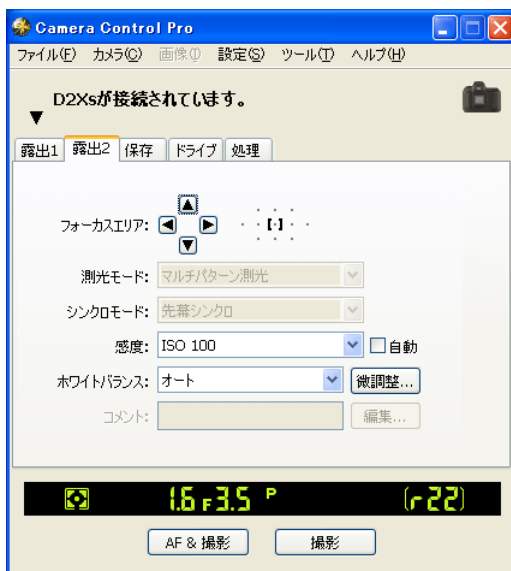
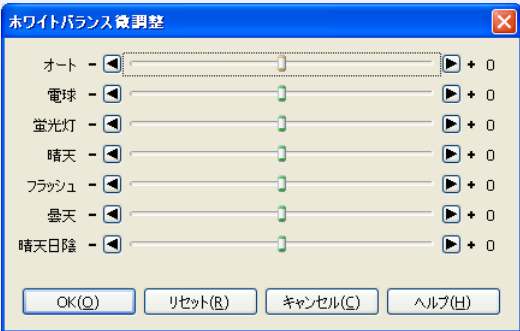
ファンクションダイヤルが［WB］、［ISO］、［QUAL］または［+］に設定されている場合は、［露出 1］パネルの操作はできません。ファンクションダイヤルを［P］、［S］、［A］、［M］のいずれかの露出モードに設定してください。

Bulb を使用するときは

露出モードを［マニュアル］にすると、シャッターボタンを押している間だけシャッターが開いたままとなる長時間露出（Bulb またはバルブ）撮影の設定ができます。ただし、この場合、カメラ本体での Bulb 操作は可能ですが、Camera Control Pro からの操作はできません（［撮影］ボタンをクリックすると、警告メッセージが表示されます）。

Camera Control Pro パネルの設定

[露出 2] パネル

[露出 2] パネルでは、次の項目を表示および設定できます。

[フォーカスエリア]	オートフォーカスで撮影するとき、被写体の位置や構図に合わせて、使用するフォーカスエリアを上下左右のボタンで選択します。フォーカスエリアについては、ご使用のカメラの使用説明書をご参照ください。AF エリアモードとフォーカスモードについては、[ドライブ] パネルをご覧ください。
[測光モード]	カメラに設定されている測光モードが表示されます。 D1 シリーズ、D100 の場合、Camera Control Pro からは変更できません。 D2 シリーズ、D200 の場合、[カメラ本体のコントロールを有効にする] がチェックされているときは、カメラで設定した測光モードが表示され、Camera Control Pro 上で変更することはできません。チェックされていないときは、カメラで設定した測光モードがデフォルト（初期値）として表示されますが、Camera Control Pro 上で変更することもできます。 D70S、D70、D50 の場合、[カメラ本体のコントロールを有効にする] がチェックされているいないにかかわらず、Camera Control Pro 上で変更することができます。測光モードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご参照ください。

Camera Control Pro パネルの設定

[露出 2] パネル	
[シンクロモード]	フラッシュ撮影の場合に、撮影の目的や意図に合わせて、5 つのシンクロモードから 1 つを選択します。シンクロモードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご参照ください。
[感度]	撮像感度を標準よりも高く設定することができ、暗いところでの撮影にも対応しています。撮像感度は、プルダウンメニューで設定します。設定可能な撮像感度については、ご使用のカメラの使用説明書をご参照ください。
[自動] D2 シリーズ D100 D200 D70S D70 D50	[自動] チェックボックスをオン ☑ にすると、感度自動制御が設定されます。

Camera Control Pro パネルの設定

[露出 2] パネル	
[ホワイトバランス]	さまざまな照明光の環境下でも白い被写体ができるだけ「白」に見えるように、照明光の色に合わせてホワイトバランスを調整できます。ホワイトバランスについては、ご使用のカメラの使用説明書をご参照ください。
[微調整] 	各ホワイトバランスに対する微調整が可能です。－3 から＋3 の範囲で調整値を設定します。[露出 2] パネルの [微調整 ...] ボタンをクリックすると、[ホワイトバランス微調整] ダイアログが表示されます。 [露出 2] パネルの [ホワイトバランス] で「オート」を選択している場合は、[オート] スライダーで設定した値でさらに自動調整します。 [リセット] ボタンをクリックすると、デフォルト（初期値）に戻ります。[OK] ボタンをクリックすると、調整値がカメラに反映されます。

微調整を行うことのできないホワイトバランスについて

[ホワイトバランス調整] を [プリセット] または [自然光（色温度選択）]（D2 シリーズ / D200）に設定している場合には、[微調整] ボタンは使用できません。

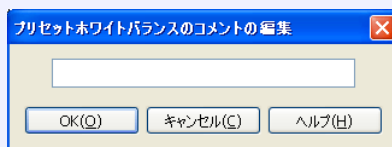
D2 シリーズ /D200 の色温度設定について

D2 シリーズまたは D200 を接続して、[ホワイトバランス] を [自然光（色温度選択）] に設定している場合には、[微調整] ボタンは、[設定] ボタンになります。[設定] ボタンをクリックすると、[色温度選択の設定] ダイアログが表示されます。

補足

画像に特殊な効果を持たせたいときには、意図的にホワイトバランスを変えるという使い方もできます。

Camera Control Pro パネルの設定

［露出 2］パネル	
［コメント］ D2 シリーズ　D200	ホワイトバランスの各プリセットデータに対するコメントを表示します。
［編集］ ボタン D2 シリーズ　D200	このボタンは、ホワイトバランスがプリセットに設定されている場合にのみ有効です。クリックすると、次の［プリセットホワイトバランスのコメントの編集］ダイアログが表示されます。 ［プリセットホワイトバランスのコメントの編集］ダイアログでは、ホワイトバランスの各プリセットデータのコメントを編集することができます。ここでは、36 文字までの半角英数字または各種記号を入力することができます。使用できる記号に関しては、「ホワイトバランスプリセットの［プリセットホワイトバランスのコメントの編集］ダイアログに入力可能な記号について」をご覧ください。［OK］ボタンをクリックすると、ここで設定したコメントが、カメラに送信されます。 プリセットホワイトバランスのコメントの編集 OK(O)　キャンセル(C)　ヘルプ(H)

［プリセットホワイトバランスのコメントの編集］ダイアログに入力可能な記号 D2 シリーズ　D200

［コメント編集］ダイアログには、半角英数字の他に、次の記号を入力することができます：

「 （スペース)」、「!」、「"」、「#」、「$」、「%」、「&」、「'」、「(」、「)」、「*」、「+」、「,」、「-」、「.」、「/」、「:」、「;」、「<」、「=」、「>」、「?」、「@」、「[」、「]」、「_」、「{」、「}」

Camera Control Pro パネルの設定

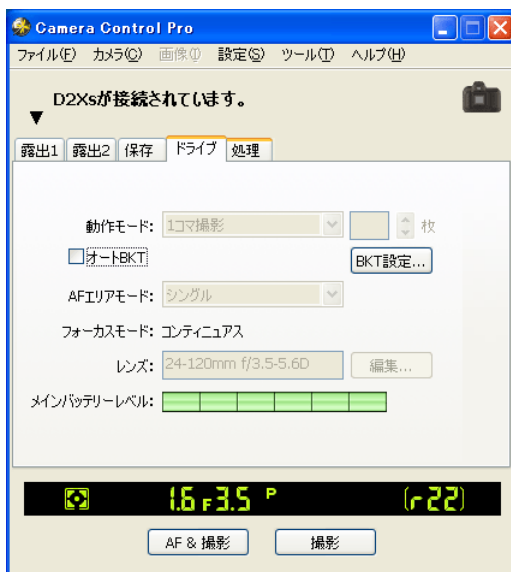
［保存］パネル

［保存］パネルでは、画質モードに関する項目を表示および設定できます。

［ファイルフォーマット］	［RAW（12-bit）＋JPEG（8-bit)］（D2 シリーズ /D200/D70S/D70/D50)、［RAW（12-bit)］、［TIFF-RGB（8-bit)］（D1 シリーズ /D2 シリーズ /D100)、［TIFF-YCbCr（8-bit)］（D1 シリーズのみ)、［JPEG（8-bit)］からファイル形式を選択できます。ファイル形式は、ビット数やファイルサイズを決定する基準になります。ファイル形式については、ご使用のカメラの使用説明書をご参照ください。
［JPEG 圧縮率］	［ファイルフォーマット］が［JPEG（8-bit)］のときに、JPEG 画像の圧縮方式を選択できます。D2 シリーズ、D200 の場合、［ファイルフォーマット］が［JPEG（8-bit)］または［RAW（12-bit）＋JPEG（8-bit)］のときに、JPEG 画像の圧縮方式を選択できます。D70S、D70、D50 の場合、［RAW（12-bit）＋JPEG（8-bit)］のときには、圧縮率が［BASIC］で固定となります。
［JPEG 圧縮］ D2X D2Xs D2Hs D200	JPEG 画像の圧縮時にファイルサイズと画質のどちらを優先するかを、［サイズ優先］と［画質優先］から選択できます。

Camera Control Pro パネルの設定

［保存］パネル	
［カラー］ D1 シリーズ	保存形式として［カラー］か［モノクロ］のどちらかを選択できます。［ファイルフォーマット］に［RAW］を選択した場合にのみ、カラーに固定されます。
［画像サイズ］	画像を記録する際のサイズ（大きさ）を選択します。画像サイズについては、ご使用のカメラの使用説明書をご参照ください。
［RAW 圧縮］ D1X D1H D2 シリーズ D200	［ファイルフォーマット］で［RAW（12-bit）+ JPEG（8-bit）］（D2 シリーズ /D200）または［RAW（12-bit）］を選択した場合に、撮影する RAW 画像の圧縮を行うかどうか設定できます。チェックボックスをオン ☑ にすると、RAW 画像の圧縮を行います。
［クロップ高速］ D2X D2Xs	［クロップ高速］チェックボックスをオン ☑ にすると、ファインダー内のクロップ高速参照エリア内のみを画像として記録します。このため、通常よりも高速に、より多くのコマ数を連続撮影できます。

Camera Control Pro パネルの設定

［ドライブ］パネル

［ドライブ］パネルでは、カメラの操作に関する項目を表示および設定できます。

［動作モード］	D1 シリーズでは、カメラとパソコンを接続したときの撮影モードを［1 コマ撮影］または［連続撮影］に設定できます。また、ここでの変更はカメラのカスタムセッティング #30［PC モード時の動作設定］の設定に反映されます。 D100 の場合は、カメラ側で設定されているモードが表示されますが、パソコン上で変更することはできません。 D2 シリーズ、D200 の場合は、[カメラ本体のコントロールを有効にする] がチェックされているときは、カメラで設定した動作モードが表示され、パソコン上で変更することはできません。チェックされていないときは、カメラで設定した動作モードにかかわらず、［1 コマ撮影］、［低速連続撮影］、［高速連続撮影］から選択することができます。 D70S、D70、D50 の場合は、［1 コマ撮影］、［連続撮影］から選択することができます。カメラ本体の［撮影動作モード］を［セルフタイマー撮影］、[2 秒リモコン撮影］、［瞬時リモコン撮影］に設定した場合、［1 コマ撮影］になります。

［AF& 撮影］/［撮影］ボタン

動作モードが［低速連続撮影］（D2 シリーズ /D200）、［高速連続撮影］（D2 シリーズ / D200）または［連続撮影］（D70S/D70/D50）の場合、Camera Control Pro の［AF& 撮影］ボタンが［AF& 開始］ボタンに、［撮影］ボタンが［開始］ボタンに変わります。

Camera Control Pro パネルの設定

［ドライブ］パネル	
[撮影枚数] D2 シリーズ D200 D70S D70 D50	△または▽をクリックするか、テキストボックスに直接入力して、連続撮影可能コマ数を設定します。[動作モード]が[低速連続撮影](D2 シリーズ /D200)[高速連続撮影](D2 シリーズ /D200)、または[連続撮影]（D70S/D70/D50）に設定されている場合にのみ、有効になります。入力できるコマ数は、撮影時の画質モードによって異なります。D2 シリーズでは、カスタムセッティングの[連続撮影コマ数]などのカメラ側の設定により連写可能なコマ数は異なります。LCD 領域右端に表示されたカメラの連続撮影可能コマ数を確認し、それより小さな値を入力して下さい。連続撮影可能コマ数より大きな値を入力した場合には、入力した値が赤く表示されます。
BKT モードの設定 D2 シリーズ D200 D70S D70 D50	［オート BKT］チェックボックスをオン ☑ にすると、オートブラケティングが実行されます。［BKT 設定］ボタンをクリックすると、［BKT モード］ダイアログでブラケティングを設定できます。 詳しくはインターバル撮影の手順 2 をご覧ください。
[AF エリアモード]	フォーカスエリアを設定します。D2 シリーズ、D200 の場合、［カメラ本体のコントロールを有効にする］がチェックされているときは、カメラで設定した AF エリアモードが表示され、パソコン上で変更することはできません。チェックされていないときは、カメラで設定した AF エリアモードがデフォルト（初期値）として表示されますが、パソコン上で変更することができます。AF エリアモードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご参照ください。
[フォーカスモード]	カメラに設定されているフォーカスモードが表示されます。Camera Control Pro からは変更できません。フォーカスモードは、カメラ上で設定してください。フォーカスモードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご参照ください。

Camera Control Pro パネルの設定

［ドライブ］パネル	
［レンズ］	現在カメラに装着されているレンズの焦点距離と開放 F 値などのレンズ情報が表示されます。ただし、装着しているレンズによっては表示されない情報があります。また、D2 シリーズまたは D200 で［レンズ定義］ダイアログで手動設定した場合、その値が、「*」マーク付きで表示されます。
［編集］ボタン D2 シリーズ D200	このボタンは、非 CPU レンズがカメラに装着されている場合にのみ有効です。クリックすると、［レンズ定義］ダイアログが表示されます。 ［レンズ定義］ダイアログでは、レンズの焦点距離と開放 F 値を設定することができます。［OK］ボタンをクリックすると、設定した焦点距離と開放 F 値が、カメラに送信されます。 レンズ定義 焦点距離: N/A 開放F値: N/A OK(O) キャンセル(C) ヘルプ(H)
［メインバッテリーレベル］	カメラのメインバッテリーの残量レベルを表示します。緑色の表示は充分に残量があることを示します。黄色の表示はバッテリーの残量が少なく、充電された予備のバッテリーを準備する必要があることを示します。赤色の表示はバッテリーが消耗していて、交換しなければ撮影できないことを示します。この場合、Camera Control Pro はカメラを制御できなくなることがあります。充電されたリチャージャブルバッテリーまたは AC アダプターをご使用ください。
［時計バッテリーレベル］ D1 シリーズ	カメラの時計バッテリー残量レベルを示します。黄色または赤色の表示になりましたらニコンサービスセンターに時計バッテリーの交換（有料）をお申し付けください。

セルフタイマー撮影について D2 シリーズ D200 D100 D70S D70 D50

Camera Control Pro の撮影ボタンを使って、セルフタイマー撮影を行うことはできません。カメラでセルフタイマーにセットしても、［動作モード］は［1 コマ撮影］と表示され、［撮影］ボタンを押しても 1 コマ撮影となります。セルフタイマー撮影を行う際は、カメラのシャッターボタンを使用してください。

リモコン撮影について D70S D70 D50

カメラでリモコン撮影にセットしても、［動作モード］は［1 コマ撮影］と表示され、［撮影］ボタンを押しても 1 コマ撮影となります。リモコン撮影を行う際は、別売のリモコンを使用してください。

Camera Control Pro パネルの設定

連続撮影可能コマ数について D2シリーズ D200 D70S D70 D50

連続撮影を行っている間、撮影した画像をカメラからパソコンに随時転送します。そのため、転送待ちの画像がある場合には、実際に撮影できるコマ数は、LCD 領域に表示される連続撮影可能コマ数よりも少なくなる場合があります。

非 CPU レンズを装着した場合

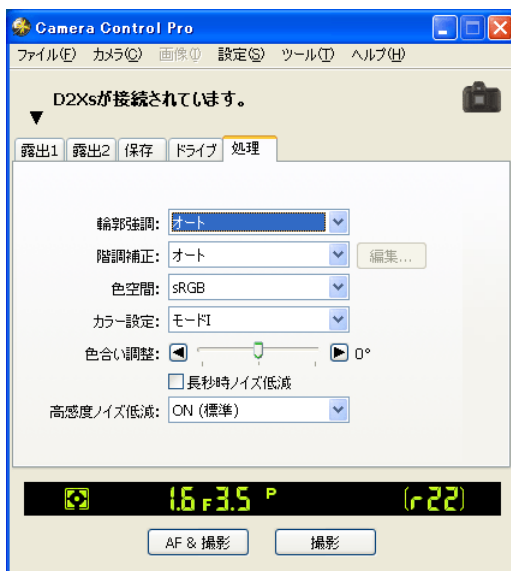
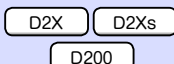
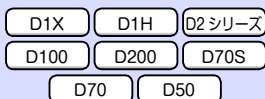
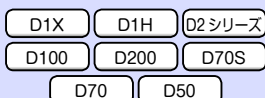
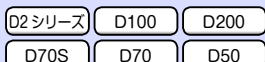
カメラに非 CPU レンズを装着した場合、Camera Control Pro の動作は CPU レンズ装着時とは異なり、また、行うことのできる操作は制限されます。非 CPU レンズ装着時の動作は次のようになります。Camera Control Pro では使用できない操作も、カメラ本体で使用することができます。カメラの操作方法に関してはカメラの使用説明書をご参照ください。

	D2シリーズ D200	D1シリーズ	D100	D70S D70 D50
露出モード *	［絞り優先オート］または［マニュアル］のみ選択可能		変更不可でカメラ側の設定を表示する	［カメラ本体のコントロールを有効にする］がチェックされている場合： 変更不可でカメラ側の設定を表示する ［カメラ本体のコントロールを有効にする］がチェックされていない場合： 全モードを選択可能。ただし［マニュアル］以外では撮影できない
シャッタースピード	露出モードが［マニュアル］の場合のみ変更可能			
絞り	レンズ定義した場合：設定した値に「*」マークを付けて表示する レンズ定義していない場合：変更不可で「f/--」と表示する	変更不可で 「f/--」と表示する		
AF&撮影ボタン	使用不可			
撮影ボタン	使用可能		使用可能 **	

* D100、D70S、D70、D50 は非 CPU レンズ使用時、［マニュアル］以外では撮影できません。
** 露出モードが［マニュアル］以外の場合、「露出モードを［マニュアル］に設定してください」というメッセージが表示されます。

Camera Control Pro パネルの設定

［処理］パネル

［処理］パネルでは、画像に対する処理に関する項目を表示および設定できます。

［仕上がり設定］ D200 D70S D70 D50	撮影する画像の仕上がりを設定します。仕上がり設定については、ご使用のカメラの使用説明書をご参照ください。
［輪郭強調］	撮影状況や好みに応じて、記録する画像の輪郭の強弱を調整します。輪郭を強調する度合いを選択し、意図的に調整できます。なお、D1 でファイル形式を RAW にした場合は、常に［しない］状態になります。輪郭強調については、ご使用のカメラの使用説明書をご参照ください。
［階調補正］	階調補正を設定して、画像のコントラストや明るさを調整します。［ユーザーカスタム］（D2Xs の場合は［ユーザーカスタム 1 ～ 3］）を選択して、［編集］ボタンをクリックすると、［階調補正テーブル編集］ダイアログが表示されます。階調補正に関しては、ご使用のカメラの使用説明書をご参照ください。
［色空間］ D2X D2Xs D200	撮影する画像の色空間を設定します。色空間については、ご使用のカメラの使用説明書をご参照ください。

Camera Control Pro パネルの設定

[処理] パネル	
[カラー設定] D1X D1H D2シリーズ D100 D200 D70S D70 D50	撮影する画像のカラーモードを設定します。カラー設定については、ご使用のカメラの使用説明書をご参照ください。
[彩度設定] D200 D70S D70 D50	撮影する画像のあざやかさを設定します。彩度設定については、ご使用のカメラの使用説明書をご参照ください。
[色合い調整] D1X D1H D2シリーズ D100 D200 D70S D70 D50	撮影する画像に対して色合いの調整が可能です。D2シリーズ、D100、D200、D70S、D70、D50では、－9°から＋9°（1ステップ3°）の7段階で0°がデフォルト（初期値）です（D1XまたはD1Hの場合、[－9°]が[0]に、[0°]が[3]に、[9°]が[6]に相当します）。肌色を基準とした場合、数値を高くすると黄色みが増し、数値を低くすると赤みが増します。
[長秒時ノイズ低減] D2シリーズ D100 D200 D70S D70 D50	シャッタースピードが低速（D2X、D2XsおよびD2Hでは約1/2秒以下、D200では約8秒以下、その他のカメラでは約1秒以下）になると、画像にノイズが入る場合があります。[長秒時ノイズ低減]チェックボックスをオン ☑ にすると、このノイズを低減させることができます。
[高感度ノイズ低減] D2X D2Xs D2Hs D200	撮像感度が高感度になると、画像にざらつき（ノイズ）が入る場合があります。D2X、D2Xs、D2Hsの場合は、[ON（標準）]または[ON（強）]から選択すると、ISO400以上（D2X、D2Xs）またはISO800以上（D2Hs）で撮影した場合のノイズを低減させることができます。D200の場合は、[ON（標準）]、[ON（弱め）]、[ON（強め）]から選択すると、ISO400以上で撮影した場合のノイズを低減させることができます。

コントロール設定の保存と読み込み

[Camera Control Pro] ウィンドウの各パネルで設定した内容をファイルに保存したり、読み込んで使うことができます。

[設定] メニューから次のメニュー項目を選択して、設定の保存や読み込みを行います。

設定(S)
コントロール設定の読み込み(L)...
コントロール設定の保存(S)...

[コントロール設定の読み込み]	[コントロール設定の保存] で保存した設定を読み込みます。 このメニュー項目を選択すると、[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。ドライブとフォルダを指定し、コントロール設定ファイル(ファイル名に「.ncc」という拡張子がつきます)を選択します。現在の [Camera Control Pro] ウィンドウの設定が、選択したファイルの設定に変わります。
[コントロール設定の保存]	現在の [Camera Control Pro] ウィンドウの設定をファイルに保存します。保存した設定は、[コントロール設定の読み込み] で呼び出せます。 このメニュー項目を選択すると、[名前を付けて保存] ダイアログが表示されるので、保存先とファイル名を指定します(ファイル名に「.ncc」という拡張子がつきます)。

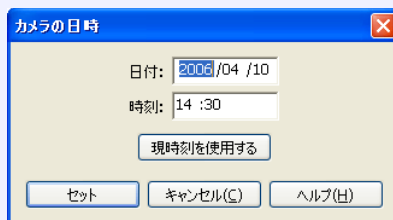
[コントロール設定の保存] で保存されないカメラ制御について

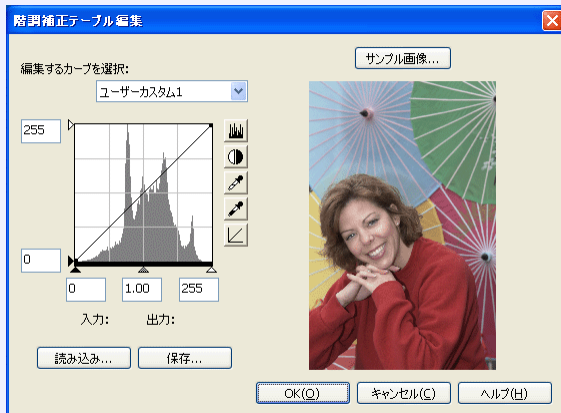
[コントロール設定の保存] で設定を保存しても、以下のカメラ制御は保存できません。

- [ドライブ] パネルの [オート BKT] チェックボックスのオン / オフ
- [BKT モード] ダイアログの全項目

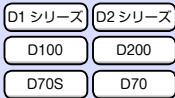
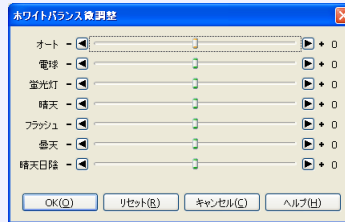
[カメラ]メニューについて

Camera Control Proの[カメラ]メニューから次のメニュー項目を選択することによって、カメラの設定を変更したり、撮影した画像にさまざまな画像調整を行うことができます。

[カスタムセッティング]	[カスタムセッティング]を選択すると、撮影時のカメラの設定を変更できる[カスタムセッティング]ダイアログが開きます。詳細な内容については「カスタムセッティング」を参照してください。
[日時設定]	[日時設定]を選択すると、[カメラの日時]ダイアログが開きます。 ここでは、使用するカメラの日時設定を行うことができます。 [現時刻を使用する]ボタンをクリックすると、パソコンに設定されている時刻がテキストボックスに表示されます。 [セット]ボタンをクリックすると、ここで設定した内容がカメラに反映されます。

[カメラ] メニューについて

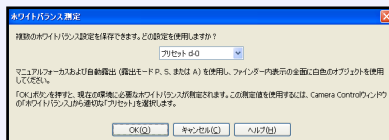
[階調補正テーブル編集]	[階調補正テーブル編集] を選択すると、[階調補正テーブル編集] ダイアログが開きます。 このダイアログの機能はカメラの階調補正テーブルを作成するもので、サンプル画像で確認しながら、シャドー、ハイライト、中間調や、最小出力値、最大出力値などを編集することができます。初期設定のリニアの状態では、カメラの階調補正の標準（ノーマル）と同じ効果のカーブになります。 編集できるのはマスターカーブ（「RGB」チャンネルのカーブ）だけで、カーブ上に追加できるポイントは 20 個までです。グレー点の追加はできません。 ここで作成されたカーブは、カメラのノーマルカーブに付加された上でカメラに設定されます。そのため、ノーマルカーブで作成された画像を元に手直しする形でカーブを編集することをおすすめします。 [編集するカーブを選択]（D2Xs のみ）のリストを切り換えることによって、３種類のカーブを編集できます。 • [読み込み] ボタンをクリックすると、[階調補正テーブル編集] ダイアログで保存したトーンカーブファイル（.ntc）を選択して画像に適用することができます。また、Nikon Capture（別売）で保存した［トーンカーブ］ファイル（.ncv）も選択できます。 • [保存] ボタンをクリックすると、[階調補正テーブル編集] ダイアログで編集したカーブをトーンカーブファイル（.ntc）の形式で保存することができます。D2Xs の場合、現在表示されているカーブのみが保存されます。

[階調補正テーブル編集] 次ページへ続く

［カメラ］メニューについて

［階調補正テーブル編集］	• ［サンプル画像］ボタンをクリックすると、画像調整のサンプル画像を選択して表示します。ただし、サンプル画像として使用できるのは、D1 シリーズ、D2 シリーズ、D100、D200、D70S、D70、D50 で作成された RAW 画像のみです。 ［OK］ボタンをクリックすると、編集したカーブがカメラに記録されます。D2Xs の場合、［OK］ボタンをクリックすると、［編集するカーブを選択］で切り換えて編集したすべてのカーブがカメラに記録されます。
［ホワイトバランスの微調整］ D1 シリーズ　D2 シリーズ　D100　D200　D70S　D70	［ホワイトバランスの微調整］を選択すると、［ホワイトバランス微調整］ダイアログが開きます。 各ホワイトバランスに対する微調整ができます。－ 3 から＋ 3 の範囲で調整値を設定します。［リセット］ボタンをクリックすると、デフォルト（初期値）に戻ります。［OK］ボタンをクリックすると、調整値がカメラに反映されます。
［色温度の設定］ D2 シリーズ　D200	［色温度の設定］を選択すると、［色温度選択の設定］ダイアログが開きます。 プルダウンメニューで色温度を選択できます。ここで選択した色温度は、ホワイトバランスが［色温度設定］の時、有効となります。［OK］ボタンをクリックすると、色温度がカメラに反映されます。

［色温度の設定］について D2 シリーズ D200

フラッシュ撮影の場合や、光源が蛍光灯の場合は、正しいホワイトバランスが得られないため、ここで設定した色温度は正常に機能しません。

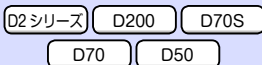
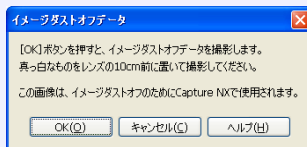
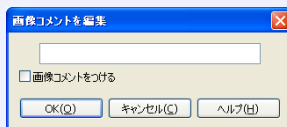
[カメラ] メニューについて

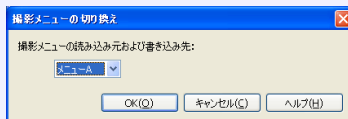
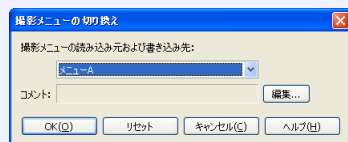
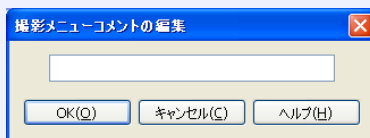
[ホワイトバランス測定]	[ホワイトバランス測定] を選択すると、[ホワイトバランス測定] ダイアログが開きます。 ここでは、プリセットホワイトバランスをセットすることができます。ポップアップメニューよりデータの保存先を選択し（D2 シリーズ /D1X/D1H/D200 のみ）、[OK] ボタンをクリックすると、プリセットホワイトバランスがセットされます（プリセットホワイトバランスの詳しい設定方法は、カメラの使用説明書をご覧ください）。

D100 のファンクションダイヤルについて

D100 で [ホワイトバランスを測定] する場合は、ファンクションダイヤルを [P]、[S]、[A]、[M] のいずれかの露出モードに設定してください。

D70S/D70/D50 の撮影モードダイヤルについて

D70S、D70、D50 で [ホワイトバランスを測定] する場合は、撮影モードダイヤルを [P]、[S]、[A]、[M] のいずれかの露出モードに設定してください。

[カメラ]メニューについて

[イメージダストオフデータ] 	[イメージダストオフデータ]を選択すると、[イメージダストオフデータ]ダイアログが開きます。ここでは Capture NX(別売)などの[イメージダストオフ]で使用できるイメージダストオフデータを取得できます。 [イメージダストオフデータ]ダイアログの[OK]ボタンをクリックすると、イメージダストオフデータを取得します。イメージダストオフデータの撮影方法は、カメラの使用説明書をご覧ください。
[画像コメントを編集]	[画像コメントを編集]を選択すると、[画像コメントを編集]ダイアログが開きます。D2 シリーズ、D100、D200、D70S、D70、D50 の場合には、カメラで設定したコメントを表示および編集できます。ここで使用できる文字は、D2 シリーズ、D100、D200、D70S、D70、D50 のセットアップメニューの「画像コメント」のキーボードエリアで選択できる文字に制限されます。D1 シリーズの場合は、半角 38 文字、全角 19 文字を入力することができます。D2 シリーズ、D100、D200、D70S、D70、D50 の場合は、半角のみ 36 文字を入力できます。 D2 シリーズ、D100、D200、D70S、D70、D50 の場合は、[画像コメントをつける]チェックボックスをオン にすると、ここで表示されているコメントが画像に記録されます。チェックボックスをオフ にすると、撮影画像には記録されませんが、[画像コメント]のコメントエリアに入力されます。D1 シリーズの場合は、ここに入力したコメントが画像に記録されます。 [OK]ボタンをクリックすると、設定がカメラに保存され、撮影する画像に適用されます。 画像コメントを編集 画像コメントをつける OK(O)　キャンセル(C)　ヘルプ(H)

[カメラ] メニューについて

[撮影メニューの切り換え] D2 シリーズ　D100　D200	[撮影メニューの切り換え] を選択すると、[撮影メニューの切り換え] ダイアログが開きます。 D100 の場合、撮影メニューのセット状態を [メニュー A] と [メニュー B] の 2 通りに記憶させておくことができ、撮影状況に合わせて、あらかじめ記憶させておいたセットを一括して簡単に呼び出すことができます。D100 の撮影メニューについては、使用説明書をご覧ください。 D2 シリーズ、D200 の場合、撮影メニューのセット状態を 4 通り記憶させておくことができ、撮影状況に合わせて、あらかじめ記憶させておいたセットを一括して簡単に呼び出すことができます。また、各撮影メニューのコメントの編集や、撮影メニューのセット状態のリセットを行うこともできます。 [編集] ボタンをクリックすると、[撮影メニューコメントの編集] ダイアログが表示されます。[撮影メニューコメントの編集] ダイアログでは、各撮影メニューのコメントを編集することができます。ここでは、20 文字までの半角英数字または各種記号を入力することができます。使用できる記号に関しては、「[撮影メニューコメントの編集] ダイアログに入力可能な記号について」をご覧ください。[OK] ボタンをクリックすると、ここで設定したコメントが、カメラに送信されます。 D2 シリーズ、D200 の撮影メニューについては、使用説明書をご覧ください。

[撮影メニューコメントの編集] ダイアログに入力可能な記号について　D2 シリーズ　D200

[撮影メニューコメントの編集] ダイアログには、半角英数字の他に、次の記号を入力することができます：

「 (スペース)」、「!」、「"」、「#」、「$」、「%」、「&」、「'」、「(」、「)」、「*」、「+」、「,」、「-」、「.」、「/」、「:」、「;」、「<」、「=」、「>」、「?」、「@」、「[」、「]」、「_」、「{」、「}」

［カメラ］メニューについて

［BKT 設定］ D2 シリーズ D200 D70S D70 D50	［BKT 設定］を選択すると、［BKT モード］ダイアログが開きます。詳細な内容については、［ドライブ］パネルの［オート BKT］を参照してください。
［インターバル撮影］	［インターバル撮影］を選択すると、［インターバル撮影］ダイアログが開きます。詳細な内容については、「インターバル撮影」を参照してください。
［カメラ本体のコントロールを有効にする］ D2 シリーズ D200 D70S D70 D50	チェックをオンにすると、接続したカメラを直接操作して撮影することができます。チェックをオフにすると、電源スイッチ、フォーカスモードセレクトダイヤル以外のすべてのカメラ本体での操作が行えなくなります。

カスタムセッティング

［カスタムセッティング］ダイアログでは、カメラに設定されているカスタムセッティングの内容を参照したり、変更したりすることができます。カスタムセッティングについての詳細は、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

1 ［カメラ］メニューの［カスタムセッティング］を選択します。

次のような［カスタムセッティング］ダイアログが表示されます。

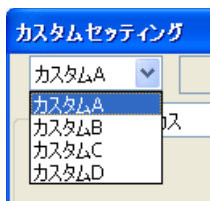
［カスタムセッティング］ダイアログには、接続されているカメラのカスタムセッティングが表示されます。

カスタムセッティングの内容

［カスタムセッティング］ダイアログに表示されている各項目を変更すると、カメラに変更内容が送信され、カメラ側のカスタムセッティングに反映されます。カメラを直接操作することなく、カスタムセッティングの内容を変更できます。

カスタムセッティング

2 カスタムセッティングを切り換えるときは、ウインドウ上部のメニューを開き、表示されるテキストボックスの中から選択します。

カスタムセッティングは、使用するカメラの機種によって選択できる数が異なります。D1 および D100 では「カスタム A」、「カスタム B」の 2 種類から、D2 シリーズ、D1X、D1H、D200 では「カスタム A」、「カスタム B」、「カスタム C」、「カスタム D」の 4 種類から選択することができます。D70S、D70、D50 では切り換えはできません。

D2 シリーズ /D200

3 各項目を変更して［OK］ボタンをクリックすると、変更した内容がカメラに反映されます。

カスタムセッティング

注意

カスタムセッティングの内容をファイルに保存することはできません。また、［リセット］ボタンをクリックすると、すべての項目が初期設定に戻ります。

［カスタムセッティング］ダイアログで変更できない項目について

以下のカスタムセッティングは、Camera Control Pro の［カスタムセッティング］ダイアログで変更できません。

・RAW データ記録（#28）（D1 シリーズのみ）

「0」がセットされている場合、カメラとパソコンを接続して Camera Control Pro を起動すると、警告ダイアログが表示されます。ダイアログで［OK］ボタンをクリックすると「1（非圧縮）」にセットされます。「0（しない）」に変更する場合は、カメラ本体で行ってください。

カメラ本体でのみ変更可能な項目：

・クリーニングミラーアップ（#8）（D1 シリーズのみ）

［Camera Control Pro］ウィンドウの［露出 2］パネルで変更可能な項目：

・増感モード（#31）（D1 シリーズのみ）

増感モードは［感度］の設定により、自動的に変更されます。

・感度の自動制御（#3）（D100 のみ）

［Camera Control Pro］ウィンドウの［ドライブ］パネルで変更可能な項目：

・PC（パソコンモード）時の動作設定（#30）（D1 シリーズのみ）

［Camera Control Pro］ウィンドウの［処理］パネルで変更可能な項目：

・輪郭強調（#23）（D1 シリーズのみ）

・階調補正（#24）（D1 シリーズのみ）

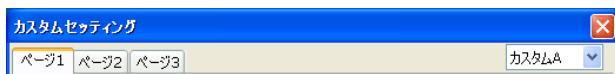
・カラー設定（#32）（D1X/D1H のみ）

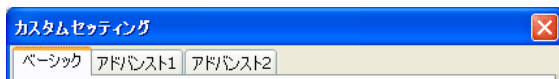
・色合い調整（#33）（D1X/D1H のみ）

・ノイズ除去（#4）（D100 のみ）

カスタムセッティング

D1 シリーズ /D100 のカスタムセッティング

D1 シリーズまたは D100 のカスタムセッティングは、「ページ 1」「ページ 2」「ページ 3」の 3 区分に分けられています。詳しくは、ご使用のカメラの使用説明書をご参照ください。

D70S/D70/D50 のカスタムセッティング

D70S、D70、D50 のカスタムセッティングは、「ベーシック」「アドバンスト 1」「アドバンスト 2」の 3 区分に分けられています。詳しくは、ご使用のカメラの使用説明書をご参照ください。

カスタムセッティング

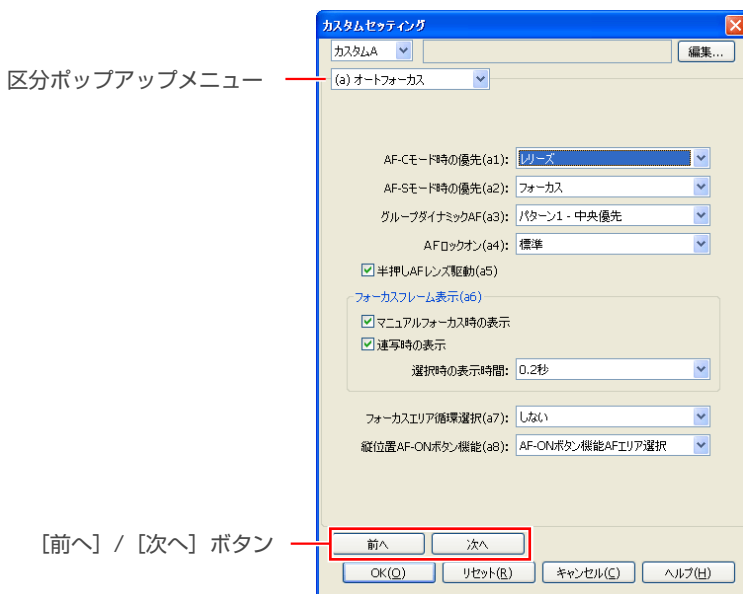
D2 シリーズ /D200 のカスタムセッティング

カスタムセッティングとコメントについて

D2 シリーズ、D200 では、「カスタム A」、「カスタム B」、「カスタム C」、「カスタム D」からカスタムセッティングを選択することができます。また、「カスタム A」、「カスタム B」、「カスタム C」、「カスタム D」は、それぞれお好みの名前に変更することができます。カスタムセッティングの切り換えリストの右横にある［編集］ボタンをクリックすると、［コメント編集］ダイアログが表示されます。

［コメント編集］ダイアログでは、各カスタムセッティングの名前を編集することができます。ここでは、20 文字までの半角英数字または各種記号を入力することができます。使用できる記号に関しては、「カスタムセッティングの［コメント編集］ダイアログに入力可能な記号について」をご覧ください。［OK］ボタンをクリックすると、ここで設定した名称が、カメラに送信されます。

カスタムセッティングの区分について

D2 シリーズ、D200 のカスタムセッティングは、「オートフォーカス」、「露出 / 測光」、「AE、AF ロック / タイマー」、「撮影 / 記録 / 表示」、「SB 撮影 / BKT 撮影」、「操作」の 6 区分に分けられています。各パネルでは、それぞれの区分に属するカスタムセッティングを設定することができます。表示するパネルの切り換えは、区分ポップアップメニュー、または［前へ］/［次へ］ボタンで行います。

D2 シリーズ /D200（画面は D2Xs のパネルです）

カスタムセッティング

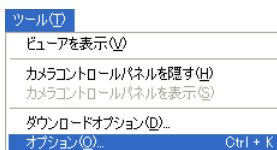
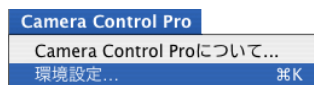
カスタムセッティングの［コメント編集］ダイアログに入力可能な記号 D2 シリーズ D200

［コメント編集］ダイアログには、半角英数字の他に、次の記号を入力することができます：

「 (スペース)」、「!」、「"」、「#」、「$」、「%」、「&」、「'」、「(」、「)」、「*」、「+」、「,」、「-」、「.」、「/」、「:」、「;」、「<」、「=」、「>」、「?」、「@」、「[」、「]」、「_」、「{」、「}」

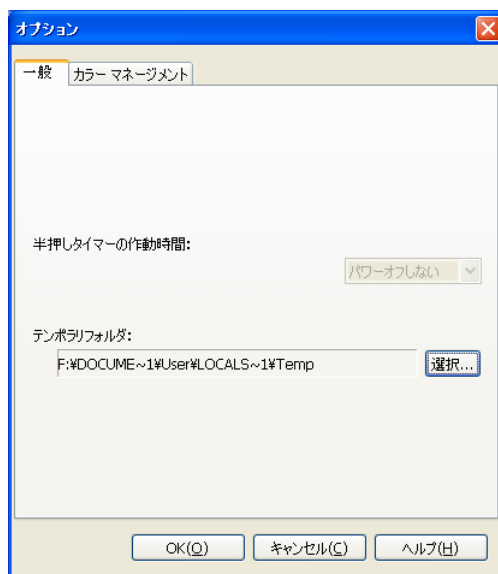
付録

環境設定

Windows の場合、Camera Control Pro の［ツール］メニューから［オプション］を、Macintoshの場合は、[Camera Control Pro] から [環境設定] を選択すると、[オプション（環境設定)］ダイアログが表示されます。

Windows

Macintosh

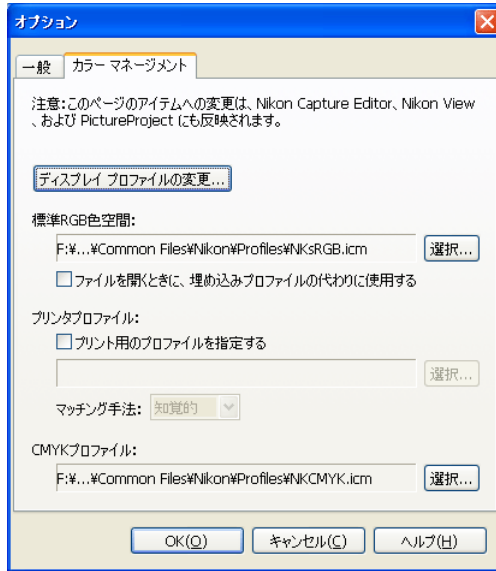
Camera Control Pro の［オプション（環境設定)］ダイアログの各パネルでは、次のようなユーザー環境を設定できます。

環境設定

［一般］パネル

項目	説明
半押しタイマーの作動時間	Camera Control Pro の起動中、リチャージャブルバッテリーを使用している場合のカメラの半押しタイマーの作動時間を設定します。半押しタイマーが作動している間は、カメラと Camera Control Pro 間での通信が可能です。ここでの設定時間は、カスタム設定での半押しタイマー時間よりも優先されます。D2 シリーズ、D100、D200、D70S、D70、D50 をお使いの場合は、この項目は設定できません（パソコンに接続している間は常に電源スイッチが ON の状態になります）。バッテリーをお使いの際はバッテリーが消費され続けるのでご注意ください。
	［15 分］（D1 シリーズのみ）：半押しタイマーの時間が 15 分に延長されます。
	［パワーオフしない］：常に半押しタイマーが作動している状況を維持します。AC アダプターを使用している場合は、常に半押しタイマーが作動している状態を維持します。
［テンポラリフォルダ］/［テンポラリデータ保存のために使用するボリューム］	画像キャッシュなどのテンポラリデータを一時保存するフォルダ（Windows）または ボリューム（Macintosh）を指定します。デフォルト（初期設定）は、起動した OS のテンポラリフォルダ（Windows）またはボリューム（Macintosh）です。テンポラリフォルダ（ボリューム）を変更する場合は、右の［選択］ボタン（Windows）または ボタン（Macintosh）をクリックします。

環境設定

[カラーマネージメント] パネル（Windows）

Windows の［カラーマネージメント］パネルでは、ニコンカラーマネージメントシステムに関する項目を設定できます。

[ディスプレイプロファイルの変更] ボタン	ご使用のモニターの特性を補正するために使われるディスプレイプロファイルを設定します。変更する場合は、［ディスプレイプロファイルの変更］ボタンをクリックし、OS の［画面のプロパティ］ウィンドウの［設定］パネルの［詳細設定］ボタンをクリックすると、ディスプレイのプロファイルウィンドウが開きます。このプロファイルウィンドウの［色の管理］パネルの［追加］ボタンをクリックして、ディスプレイプロファイルを指定します。
[標準 RGB 色空間]	画像を扱う際の作業用（出力）色空間を設定します。［選択］ボタンをクリックして RGB プロファイルを指定します。 ［ファイルを開くときに、埋め込みプロファイルの代わりに使用する］のチェックボックスをオン ☑ にすると、標準 RGB 色空間で設定された色空間が作業用色空間となります。チェックボックスをオフ ☐ にすると、画像ファイルに埋め込まれているプロファイルが作業用色空間となります。

環境設定

<table>
<tr><th colspan="2">［カラーマネージメント］パネル（Windows）</th></tr>
<tr><td>［プリンタ
プロファイル］</td><td>画像を印刷する際に使用するプリンタプロファイルを設定します。現在適用中の RGB 色空間をそのまま使用する場合は、［プリント用のプロファイルを指定する］チェックボックスをオフ □ にします。プリンタプロファイルを使用して印刷する場合は、［プリント用のプロファイルを指定する］チェックボックスをオン ☑ にして、［選択］ボタンをクリックしてプリンタプロファイルを指定します。

プリンタプロファイルを設定した場合、設定したプリンタプロファイルが持つ色域に近似させるための変換方法（マッチング方法）を［知覚的］、［相対］から選択できます。

［相対］：選択した画像の色が、設定したプリンタプロファイルが持つ色域内にある場合は、色の変更を行いませんが、設定したプリンタプロファイルが持つ色域外にある場合には、できるだけ近い色に置き換えます。

［知覚的］：選択した画像の色が、設定したプリンタプロファイルが持つ色域の外にある場合にプリンタプロファイルの色域内に収まるように画像の色全体を圧縮します。

ただし、プロファイルにより効果の差が生じない場合があります。通常プリンター用プロファイルのみがこの機能をサポートしています。詳細はプロファイルの作成元にお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>［CMYK プロファイル］</td><td>TIFF-CMYK で保存する際に、RGB データを CMYK データに変換するために使用される CMYK プロファイルを設定します。［選択］ボタンをクリックし、CMYK プロファイルを指定します。</td></tr>
</table>

［プリンタプロファイル］、［CMYK プロファイル］について

Camera Control Pro で設定した［プリンタプロファイル］と［CMYK プロファイル］は、PictureProject に反映されますのでご注意ください。

環境設定

マルチディスプレイ

マルチディスプレイの環境で表示する場合は、主に画像を表示するディスプレイに合ったプロファイルを設定してください。

デフォルト（初期値）のディスプレイプロファイル

パソコンでカラープロファイルが設定されていない場合には、NKMonitor_Win.icm をデフォルト（初期値）のディスプレイプロファイルとして使用します。NKMonitor_Win.icm は sRGB に相当します。

注意

［カラーマネージメント］パネルでは、ディスプレイプロファイル、プリンタプロファイル、および CMYK プロファイルには、ICC プロファイルのみを使用することができます。特に CMYK プロファイルを設定するときは、パソコン環境によって ICC プロファイル以外が含まれますのでご注意ください。

［カラーマネージメント］パネルの設定

［カラーマネージメント］パネルで変更した内容は、PictureProject と Camera Control Pro で共有され、各アプリケーションのオプション（環境設定）の［カラーマネージメント］パネルに反映されます。Capture NX（別売）には反映されません。

補足

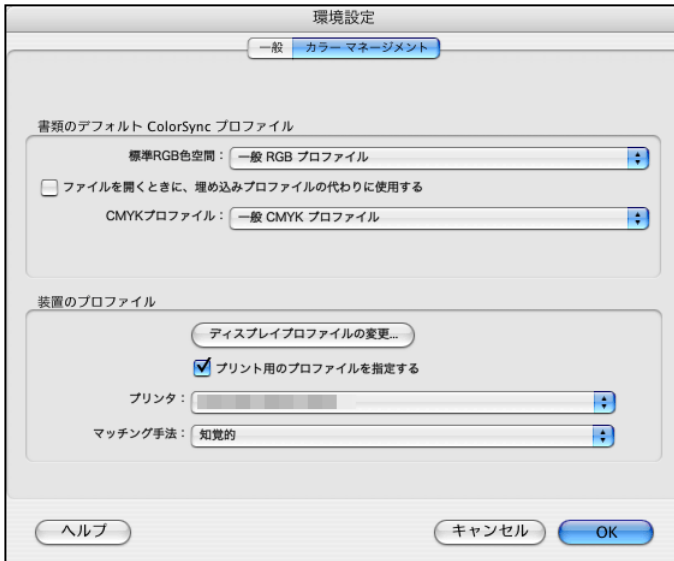
Camera Control Pro がサポートする色空間については、「標準 RGB 色空間について」を参照してください。

CMYK プロファイル

［NKCMYK.icm］プロファイルは、特定のインクセットではなくほぼ中庸で一般的なプロファイルであるため、使用条件に適したプロファイルがない場合や、使用条件が分からない場合などに使用します。

環境設定

[カラーマネージメント] パネル (Macintosh)

Macintosh の [カラーマネージメント] パネルでは、ニコンカラーマネージメントシステムに関する項目を設定できます。また、ディスプレイプロファイルについては、システム環境設定のディスプレイで設定されているプロファイルが反映されます。

<table>
<tr><td rowspan="3">[書類のデフォルト ColorSync プロファイル] セクション</td><td colspan="2">画像の表示、補正、変換、保存などを行うときに使用する、ICC プロファイルを設定します。</td></tr>
<tr><td></td><td>[標準 RGB 色空間]：画像を扱う際の作業用（出力）色空間（ICC プロファイル名）を選択できます。[ファイルを開くときに、埋め込みプロファイルの代わりに使用する] チェックボックスをオン ☑ にすると、ここで設定したプロファイルが画像を扱う際の作業用色空間となります。チェックボックスをオフ ☐ にすると、画像ファイルに埋め込まれているプロファイルが作業用色空間となります。</td></tr>
<tr><td></td><td>[CMYK プロファイル]：TIFF-CMYK で保存する際に RGB データを CMYK データに変換するために使用される CMYK プロファイルを選択できます。</td></tr>
</table>

環境設定

<table>
<tr><th colspan="2">[カラーマネージメント] パネル（Macintosh）</th></tr>
<tr><td rowspan="6">[装置のプロファイル] セクション</td><td>ここでは、ディスプレイプロファイルの設定やプリンタプロファイルの設定などを行います。</td></tr>
<tr><td>[ディスプレイプロファイルの変更]：[ディスプレイプロファイルの変更] ボタンをクリックすると、システム環境設定のディスプレイが開きます。ここで、[カラー] タブを選択して、ディスプレイのプロファイルを参照および変更することができます。</td></tr>
<tr><td>[プリント用のプロファイルを指定する]：このチェックボックスをオフ にすると、印刷する際に RGB デフォルトで設定されている作業用色空間が適用されます。</td></tr>
<tr><td>[プリンター]：[プリント用のプロファイルを指定する] チェックボックスをオン にすると、[プリンター] で表示されているプリンタプロファイルを使用して印刷を行います。ただし、CMYK のプロファイルを設定すると、Camera Control Pro では使用できません。この場合、[プリント用のプロファイルを指定する] チェックボックスの操作はできなくなります。</td></tr>
<tr><td>[マッチング手法]：プリンタプロファイルを使用して印刷を行う場合、設定したプリンタプロファイルが持つ色域に近似させるための変換方法（マッチング方法）を [知覚的]、[相対] から選択できます。

[相対]： 選択した画像の色が、設定したプリンタプロファイルが持つ色域内にある場合は、色の変更を行いませんが、設定したプリンタプロファイルが持つ色域外にある場合には、できるだけ近い色に置き換えます。

[知覚的]： 選択した画像の色が、設定したプリンタプロファイルが持つ色域の外にある場合にプリンタプロファイルの色域内に収まるように画像の色全体を圧縮します。</td></tr>
<tr><td>ただし、プロファイルにより効果の差が生じない場合があります。通常、プリンター用プロファイルのみがこの機能をサポートしています。詳細はプロファイルの作成元にお問い合わせください。</td></tr>
</table>

環境設定

補足

［標準 RGB 色空間］に入力用のプロファイルを設定した場合、Camera Control Pro では、sRGB 色空間が設定されたものとして動作します。

CMYK プロファイル

［Nikon CMYK 4.0.0.3000］プロファイルは、特定のインクセットではなくほぼ中庸で一般的なプロファイルであるため、使用条件に適したプロファイルがない場合や、使用条件が分からない場合などに使用します。

注意

［カラーマネージメント］パネルでは、ディスプレイプロファイル、プリンタプロファイル、および CMYK プロファイルには、ICC プロファイルのみを使用することができます。特に CMYK プロファイルを設定するときは、パソコン環境によって ICC プロファイル以外が含まれますのでご注意ください。

［カラーマネージメント］パネルの設定

［カラーマネージメント］パネルで変更した内容は、Capture NX（別売）および PictureProject には反映されません。ただし、ディスプレイプロファイルの変更は、OS の設定を変更するため、すべてのソフトウェアに影響します。

マルチディスプレイ

マルチディスプレイの環境では、ウインドウのより多くのエリアを表示しているディスプレイのプロファイルを取得し表示します。従って、ディスプレイごとに異なるプロファイルを使って表示を行うことができます。

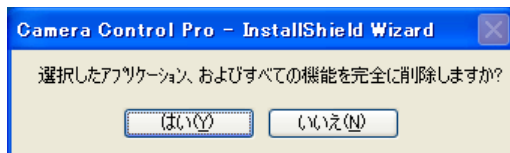
補足

Camera Control Pro がサポートする色空間については、「標準 RGB 色空間について」を参照してください。

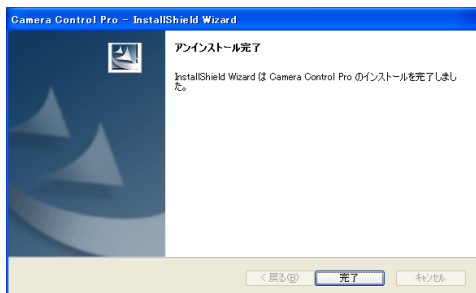
アンインストール Windows

Camera Control Pro をアンインストールする際は、「コンピュータの管理者（**Windows 2000** の場合は「Administrators」）」アカウントでログオンしてください。

1 ［スタート］メニューにある［すべてのプログラム］（**Windows 2000** は［プログラム］）の［Camera Control Pro］から、［Camera Control Pro アンインストール］を選択します。

2 アンインストールの確認ダイアログが表示されます。

［はい］をクリックすると、アンインストールを開始します。

3 Camera Control Pro とほかのプログラムで共有している共有ファイルや読み取り専用ファイルがある場合、確認の画面が表示されます。画面の表示を確認しながらファイルを削除、または残します。

4 ［完了］をクリックします。

パソコンを再起動するダイアログが表示された場合は、ダイアログにしたがってパソコンを再起動してください。

アンインストール

Macintosh

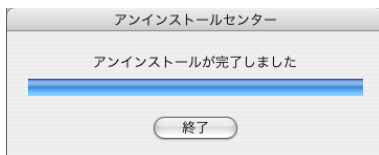
Camera Control Pro をアンインストールする際は、「管理者」権限のアカウントでログインしてください。

1 ［アプリケーション］→［Nikon Software］→「Camera Control Pro」の順にフォルダを選択し、［Camera Control Pro Uninstaller］をダブルクリックしてください。

2 Camera Control Pro のアンインストールには、管理者の［名前］と［パスワード］が必要です。

管理者の名前とパスワードを入力して、［OK］をクリックしてください。

3 ［はい］をクリックしてください。

4 ［終了］をクリックしてください。

標準 RGB 色空間について

	色空間	WIndows	Macintosh	内容
ガンマ 1.8 系	Apple RGB	NKApple.icm	Nikon Apple RGB 4.0.0.3000	Adobe Photoshop 4.0 以前のバージョンで使用されていた RGB 色空間です。各種 DTP アプリケーションでも使用されている、Macintosh 用モニターの平均的な RGB 色空間です。Macintosh 上で画像を表示する場合に適しており、バージョン 5.0 以降の Adobe Photoshop の RGB 設定の「Apple RGB」に相当します。
ガンマ 1.8 系	ColorMatch RGB	NKCMatch.icm	Nikon ColorMatch RGB 4.0.0.3000	Radius 社の Pressview モニター用の色空間で、Apple RGB よりもやや色域が広く、特に青の色域が広いのが特徴です。バージョン 5.0 以降の Adobe Photoshop の RGB 設定の「Color Match RGB」に相当します。

標準 RGB 色空間について 2/2

	色空間	WIndows	Macintosh	内容
ガンマ2.2系	sRGB	NKsRGB.icm	Nikon sRGB 4.0.0.3001	ほとんどの Windows 用モニターの代表として定義された色空間です。一般的なカラー TV の色空間にも非常に似通っており、近年アメリカで標準となりつつあるデジタル TV 放送用色空間でもあります。この色空間を初期設定色空間として使用するハードウェア、ソフトウェアが多く見受けられます。近年 Web ページに用いる画像の標準色空間になりつつあり、スキャンした画像を編集またはプリントせず、そのまま電子画像として使用する場合に適しています。しかし色域が狭く、特に青の色域が狭いのが特徴です。Adobe Photoshop 5.0 または 5.5 における RGB 設定の「sRGB」、Adobe Photoshop 6.0 における「sRGB IEC61966-2.1」に相当します。
	Bruce RGB	NKBruce.icm	Nikon Bruce RGB 4.0.0.3000	Bruce Fraser 氏が定義した色空間です。xy 色度図上で「Adobe RGB」の G と「sRGB」の G の間に G の色度を定義し、sRGB の青の色域を広げて SWOP CMYK の色域を包含する色域を実現しています。Bruce RGB の R と B は「Adobe RGB」と一致しています。
	NTSC (1953)	NKNTSC.icm	NTSC (1953) 4.0.0.3000	National Television Standard Committee（NTSC）で定義されたビデオ色空間で、従来のカラーテレビの標準 RGB 色空間です。バージョン 5.0 以降の Adobe Photoshop の RGB 設定の「NTSC（1953)」に相当します。
	Adobe RGB (1998)	NKAdobe.icm	Nikon Adobe RGB (1998) 4.0.0.3000	Adobe Photoshop 5.0 で定義された色空間です。sRGB よりもかなり色域が広く、ほとんどのプリンターの CMYK 色域を包含しているので、DTP 関連の業務に適しています。Adobe Photoshop 5.0 の RGB 設定の「SMPTE-240M」、バージョン 5.5 以降の「Adobe RGB（1998)」に相当します。
	CIE RGB	NKCIE.icm	Nikon CIE RGB 4.0.0.3000	Commission Internationale d'Eclairage（CIE）で定義された色空間です。色域はかなり広めですが、シアン系の色域が狭いのが特徴です。バージョン 5.0 以降の Adobe Photoshop の RGB 設定の「CIE RGB」に相当します。
	Adobe Wide RGB	NKWide.icm	Nikon AdobeWide RGB 4.0.0.3000	Adobe 社が定義した可視カラーの大半を表現できる色空間です。しかしこの色空間で定義される色の大半は一般的なモニターやプリンターでは表現できない色となります。バージョン 5.0 以降の AdobePhotoshop の RGB 設定の「Adobe Wide RGB」に相当します。

デバイス登録の確認

D1 シリーズカメラが、Camera Control Pro をインストールしたパソコンに正しく認識されない場合は、IEEE1394 ボードやカメラなどのデバイスが、パソコンに正しく登録されていないことが考えられます。

ご使用の OS をクリックし、デバイス登録の確認手順をご覧ください。

Windows XP Professional/Home Edition

Windows 2000 Professional

［デバイスマネージャ］の表示方法

デバイス登録の確認には、Windows の［デバイスマネージャ］を使用します。［デバイスマネージャ］の表示方法は以下の通りです。

Windows XP

［スタート］メニュー →［コントロールパネル］→［パフォーマンスとメンテナンス］→［システム］の順に選択して［システムのプロパティ］ダイアログを開き、［ハードウェア］パネルの［デバイス マネージャ］ボタンをクリックします。

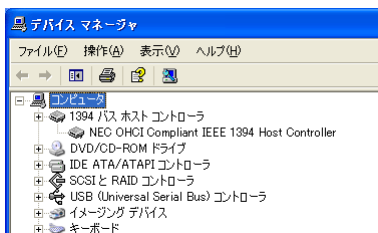
Windows 2000

デスクトップの［マイ コンピュータ］アイコンを右クリックします。表示されるメニューのプロパティをクリックして、［システムのプロパティ］ダイアログを開き、［ハードウェア］パネルの［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

デバイス登録の確認 Windows XP 1/4

IEEE1394 ボードの確認

以下の手順で、ご使用の OHCI 対応 IEEE1394 ボードがパソコンに正しく認識されていることをご確認ください。

1 [デバイスマネージャ] で、[1394 バスホストコントローラ] の下にご使用のコントローラ名が表示されていることを確認してください。

[デバイスマネージャ] に [1394 バスコントローラ] が表示されない場合や、IEEE1394 ボード名が [その他のデバイス] の下に表示される場合、IEEE1394 ボード名に赤や黄色のマークが表示される場合は、IEEE1394 ボードがパソコンに正しく認識されていません。ボードの使用説明書などをご覧になり、正しく認識されるように設定してください。

2 Camera Control Pro に付属の D1 シリーズ用ドライバをインストールし、パソコンを再起動した後、パソコンとカメラを IEEE1394 ケーブルで接続し、カメラの電源をオンにすると、自動的にカメラの登録が行われます。

ログオン

カメラを登録する場合は、「コンピュータの管理者」権限のアカウントでログオンしてください。

カメラとパソコンを接続する前に

カメラをパソコンに接続する前に、必ず Camera Control Pro をインストールしてください。

デバイス登録の確認

D1 シリーズカメラの確認

以下の手順で、カメラがパソコンに正しく認識されていることをご確認ください。

1 ［デバイス マネージャ］に、［Nikon 1394 Protocol Device］と［Nikon Digital Camera D1 Series］が表示されていることを確認してください。

［Nikon 1394 Protocol Device］が表示されず、［その他のデバイス］の下に［NIKON D1X（D1/D1H)］が表示されている場合は、デバイスドライバを再インストールしてください。

［Nikon 1394 Protocol Device］も「その他のデバイス」も表示されていない場合は、カメラの電源を入れなおしてください。

2 ［Nikon Digital Camera D1 Series］ダブルクリックしてプロパティを開き、［全般］パネルにある［デバイスの状態］に［このデバイスは正常に動作しています。］と表示されていることを確認してください。

トラブルシューティング

［デバイスマネージャ］に［1394 バスコントローラ］は表示されるが、［NIKON D1X（D1/D1H)］が表示されない場合は、以下のことについてご確認ください。

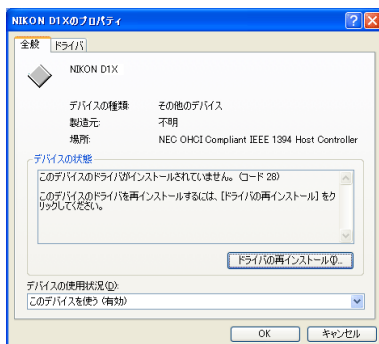
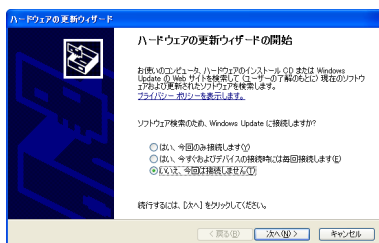
- カメラの電源はオンになっていますか？
- バッテリー残量は不足していませんか？ AC アダプターは正しく接続されていますか？
- 動作モードが［PC］に設定されていますか？
- IEEE1394 ケーブルは正しく接続されていますか？

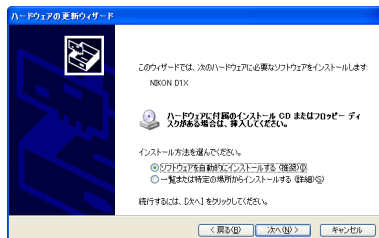
デバイス登録の確認 Windows XP 3/4

デバイスドライバの再インストール

［その他のデバイス］の下に［NIKON D1X（D1/D1H)］と表示されている場合は、以下の手順で、デバイスドライバを再インストールする必要があります。

1 ［その他のデバイス］の下にある［NIKON D1X（D1/D1H)］をダブルクリックしてプロパティを表示します。

2 ［全般］パネルの［ドライバの再インストール］ボタンをクリックします。

3 ［いいえ、今回は接続しません］を選択して［次へ］をクリックします。

デバイス登録の確認 Windows XP 4/4

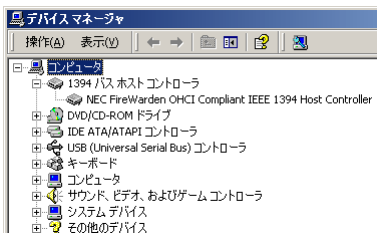
4 ［ソフトウェアを自動的にインストールする］を選択して、Camera Control Pro CD を CD-ROM ドライブに挿入（地域選択画面が表示された場合は［Quit］ボタンをクリックし、ウィンドウを閉じてください）すると、自動的にドライバーがインストールされます。

5 ［完了］ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

6 ［Nikon Digital Camera D1 Series のプロパティ］の［全般］パネルにある［デバイスの状態］に［このデバイスは正常に動作しています］と表示されていることを確認してください。

デバイス登録の確認 Windows 2000 1/8

IEEE 1394 ボードの確認

以下の手順で、ご使用の OHCI 対応 IEEE1394 ボードがパソコンに正しく認識されていることをご確認ください。

1 ［デバイスマネージャ］で、［1394 バスホストコントローラ］の下にご使用のコントローラ名が表示されていることを確認してください。

［デバイスマネージャ］に［1394 バスコントローラ］が表示されない場合や、IEEE1394 ボード名が［その他のデバイス］の下に表示される場合、IEEE1394 ボード名に赤や黄色のマークが表示される場合は、IEEE1394 ボードがパソコンに正しく認識されていません。ボードの使用説明書などをご覧になり、正しく認識されるように設定してください。

2 Camera Control Pro に付属の D1 シリーズ用ドライバーをインストールし、パソコンを再起動した後、パソコンとカメラを IEEE1394 ケーブルで接続し、カメラの電源をオンにすると、自動的にカメラの登録が行われます。

ログオン

カメラを登録する場合は、Administorators 権限でログオンしてください。

すでに Nikon View DX / Nikon Capture で D1 をご使用の場合

すでに Nikon View DX、Nikon Capture で D1 をご使用の場合は、「デバイスドライバの更新」をご覧のうえ、デバイスドライバを更新してください。

カメラとパソコンを接続する前に

カメラをパソコンに接続する前に、必ず Camera Control Pro をインストールしてください。

デバイス登録の確認

D1 シリーズカメラの確認

以下の手順で、カメラがパソコンに正しく認識されていることをご確認ください。

1 [デバイスマネージャ] に［Nikon 1394 Protocol Device］と［Nikon Digital Camera D1 Series］が表示されていることを確認してください。

［Nikon 1394 Protocol Device］が表示されず、［その他のデバイス］の下に［NIKON D1X（D1/D1H)］と表示されている場合は、デバイスドライバを再インストールしてください。

［Nikon 1394 Protocol Device］も「その他のデバイス」も表示されていない場合は、カメラの電源を入れなおしてください。

2 ［Nikon Digital Camera D1 Series］をダブルクリックしてプロパティを開き、［全般］パネルにある［デバイスの状態］に［このデバイスは正常に動作しています。］と表示されていることを確認してください。

トラブルシューティング

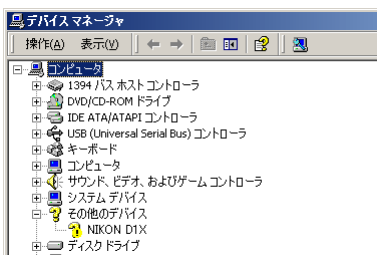
［デバイスマネージャ］上に［1394 バスコントローラ］は表示されるが、［NIKON D1X（D1/D1H)］が表示されない場合は、以下のことについてご確認ください。

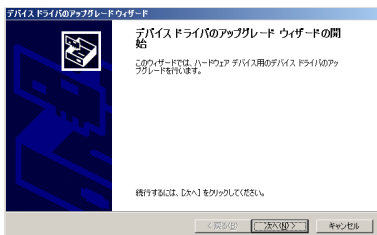
- カメラの電源はオンになっていますか？
- バッテリー残量は不足していませんか？ AC アダプターは正しく接続されていますか？
- 動作モードが［PC］に設定されていますか？
- IEEE1394 ケーブルは正しく接続されていますか？

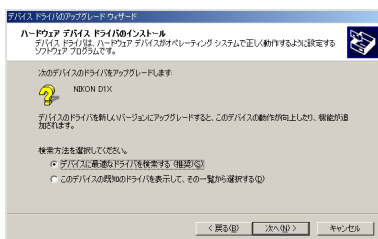
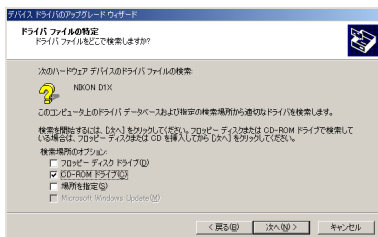
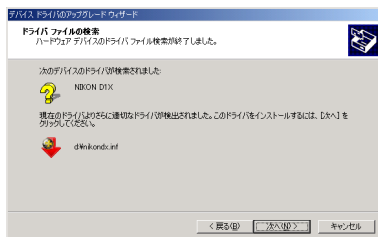
デバイス登録の確認

デバイスドライバの再インストール

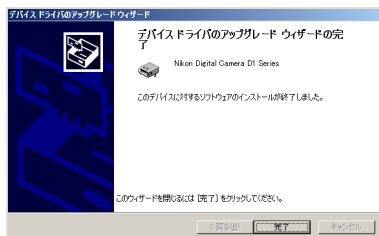
［その他のデバイス］の下に［NIKON D1X（D1/D1H)］と表示されている場合は、以下の手順で、デバイスドライバを再インストールする必要があります。

1 ［その他のデバイス］の下にある［NIKON D1X（D1/D1H)］をダブルクリックして、プロパティを表示します。

2 ［全般］パネルにある［ドライバの再インストール］ボタンをクリックします。

3 ［次へ］ボタンをクリックします。

デバイス登録の確認

4 ［デバイスに最適なドライバを検索する］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

5 Camera Control Pro CD を CD-ROM ドライブに挿入し（地域選択画面が表示された場合は［Quit］ボタンをクリックし、ウィンドウを閉じてください）、［CD-ROM ドライブ］にチェックを入れ、［次へ］ボタンをクリックします。

6 ［次へ］ボタンをクリックします。

※［このデバイス用のドライバが見つかりませんでした］と表示された場合は、挿入した CD-ROM が認識されていないか、指定したフォルダが間違っていることが考えられます。［戻る］ボタンをクリックし、Step5 に戻って再度設定してください。

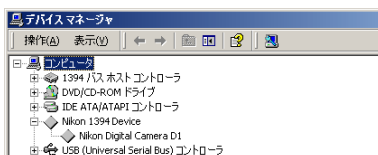
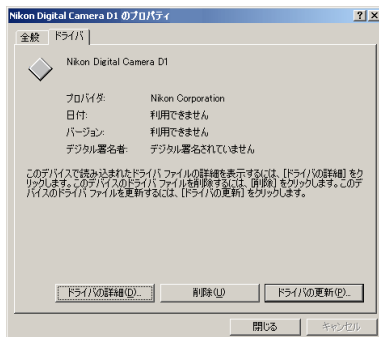
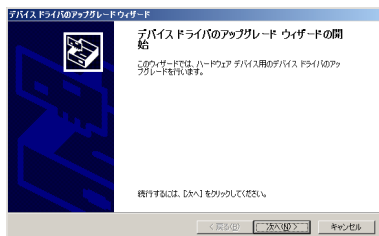
デバイス登録の確認 Windows 2000 5/8

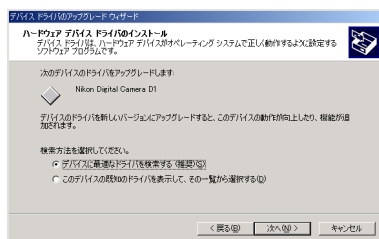
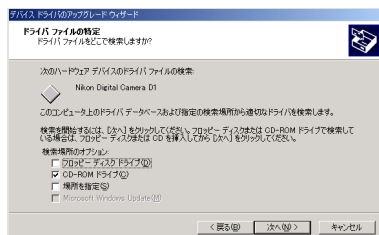
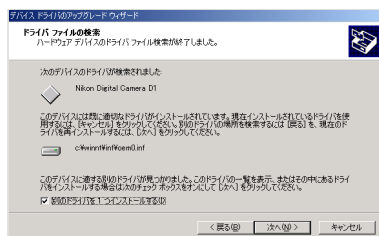
7 ［完了］ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

8 ［Nikon Digital Camera D1 Series のプロパティ］の［全般］パネルにある［デバイスの状態］に［このデバイスは正常に動作しています。］と表示されていることを確認してください。

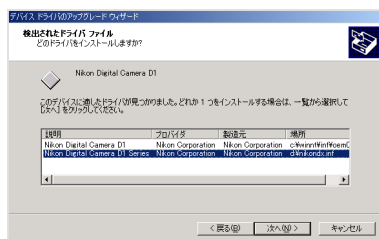
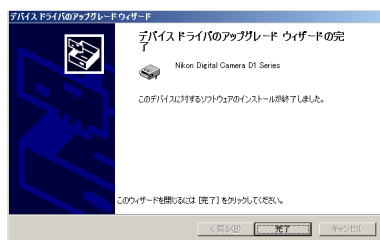
デバイス登録の確認

デバイスドライバの更新

すでに Nikon View DX、Nikon Capture で D1 シリーズをご使用の場合、登録されている D1 シリーズ用のデバイスドライバを更新する必要があります。

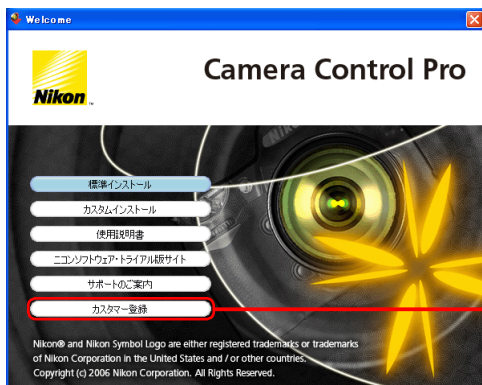
1 [デバイス マネージャ] で、[Nikon 1394 Device] の下にある [Nikon Digital Camera D1] をダブルクリックしてプロパティを表示します。

2 [ドライバ] パネルにある [ドライバの更新] ボタンをクリックします。

3 [次へ] ボタンをクリックします。

デバイス登録の確認

4 ［デバイスに最適なドライバを検索する］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

5 Camera Control Pro CD を CD-ROM ドライブに挿入し（地域選択画面が表示された場合は［Quit］ボタンをクリックし、ウィンドウを閉じてください）、［CD-ROM ドライブ］にチェックを入れ、［次へ］ボタンをクリックします。

6 ［別のドライバを 1 つインストールする］にチェックを入れ、［次へ］ボタンをクリックします。

デバイス登録の確認

7 [Nikon Digital Camera D1 Series] を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。

8 [完了] ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

9 [Nikon Digital Camera D1 Series のプロパティ] の [全般] パネルにある [デバイスの状態] に [このデバイスは正常に動作しています] と表示されていることを確認してください。

カスタマー登録とサポート窓口のご案内

カスタマー登録のご案内

Camera Control Pro のインストール前または後に［Welcome］ウィンドウで［カスタマー登録］ボタンをクリックすると、インターネットを通じてカスタマー登録を行うことができます（インターネットに接続できる環境が必要です）。

カスタマー登録

カスタマー登録は下記の Web サイトからも行えます。

https://reg.nikon-image.com

サポート窓口のご案内

下記アドレスのホームページ上で、最新のサポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm

製品の使い方について電話または FAX でお問い合わせいただく場合は、下記のニコンカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。なお、ニコンカスタマーサポートセンターでは、日本語以外の言語でのお問い合わせには対応いたしかねます。

<ニコンカスタマーサポートセンター>

全国共通
☎ 0570-02-8000
市内通話料金でご利用いただけます

営業時間:9:30～18:00（年末年始、夏期休暇等を除く毎日）
携帯電話、PHS等をご使用の場合は、**03-5977-7033** におかけください。
FAXでのご相談は、**03-5977-7499** におかけください。

音声によるご案内に従い、ご利用窓口の番号を入力してください。お問い合わせ窓口の担当者がご質問にお答えいたします。